



一般社団法人 和歌山県鍼灸師会

会 報

2015年度 第23号



# 和鍼会トピックス



和鍼会定時会員総会 H27.5.17



第11回 はり・きゅう講演会 H26.11.9



第1回 学術講習会 H27.3.22  
(講師 中田会員、前嶋会員、薮中会員、弓場会員)



第2回 学術・青年部合同研修会 H26.12.21  
(石田会員施術所見学)



第20回 紀州口熊野マラソンボランティア H27.2.1



第1回 療養費制度等適正運用指導会 H27.5.17



公益社団法人 日本鍼灸師会

倫理綱領

日本鍼灸師会会員の遵守すべき倫理綱領を次のように定める

- 一 私は生涯を人類への奉仕に捧げることを誓う
- 二 私は常に患者の健康の回復と保持増進を第一に考える
- 三 私は患者の信頼に応じて秘密を厳守する
- 四 私は良心と誠意をもって治療に専念する
- 五 私はたえず鍼灸の学と術について最高水準を保ち疾病に関する知識を一層深め伝統を守りその傳承に努力する
- 六 私は鍼灸治療の有効性を高めその学術的研究の業績を重ねることによって他の医療分野から信頼と協調を確保し患者の治療に努力する
- 七 私は鍼灸治療の適応を十分認識し無効な治療を行うことなく更に過誤を犯すことのないように努める
- 八 私は常に自己の職責に誇りと責任をもち鍼灸師としての名誉と尊厳をもって鍼灸の発展に努力する
- 九 私は治療に当って宗教国籍人種政党社会的地位の違いによって患者に果すべき義務を変えることはしない
- 十 私は流派を超えて相互に鍼灸師を尊重し鍼灸界の団結を高め鍼灸師の資質向上のために努力する

## 目 次

倫理綱領	1
巻頭言 一般社団法人 和歌山県鍼灸師会 会 長 萩野 利赴	3
[特集] 在宅医療のポイント 会 長 萩野 利赴	4
[特集] 2015紀の国わかやま大会特集	
①2015紀の国わかやま大会にむけて 副会長 中田 浩	7
②障害者スポーツ選手のサポート方法 財務副部長 藪中 浩之	9
③スポーツ現場での鍼灸施術の注意事項	11
[特集] 新理事に聞く ～鍼灸への熱い思い～	12
[特集] 第34期鍼灸臨床研修会に参加して 学術部長 中野 正得	15
[特集] 近畿ブロック青年委員会1泊研修会 in 和歌山 広報部長 木下 真人	16
保険部より	
●労働者災害補償保険はり・きゅう取扱い資料改訂他	19
●鍼灸療養費取扱い状況	21
学術部より	
●平成26年度 学術部活動報告	23
●平成27年度 学術部活動計画	25
●学術からのご紹介したい本	27
青年部より	
●平成26年度 第2回 学術・青年部合同研修会のご報告	28
●第20回紀州口熊野マラソン 鍼灸ボランティア活動のご報告	29
総務部より	
●新入会員紹介	30
●会員震災台帳調査表は必要です！	32
●きしゅう君の家 登録について	33
●入会のご案内	34
広報部より	
●和歌山県鍼灸師会 HP 活用のご案内	35
●和歌山県鍼灸師会 各研修会・講習会での動画のご案内	35
推薦図書のご案内	36
平成27年度 一般社団法人 和歌山県鍼灸師会 定時会員総会 概略	37
平成26年度 事業報告	38
平成27年度 事業計画	42
平成27・28年度 役員紹介	44
編集後記	45



## 巻頭言

一般社団法人 和歌山県鍼灸師会  
会長 萩野 利赴

秋冷の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別の御厚誼にあずかり、厚く御礼申し上げます。

公益社団法人 日本鍼灸師会(各都道府県の全国組織)会長に仲野 弥和先生が就任3期目を担っていただき、新役員が誕生しました。

本会も役員改選があり、新理事が就任致しました。新任理事の得意とする未来を見据えた若き力が大いに発揮できるよう環境を整え、活躍に期待しているところです。

地域包括ケアシステムの構築に向け、地域と密着した医療、介護、公的機関等の専門職の方々と共に、連携・協調ができるチームの一員となりえる鍼灸師。我々の活用を呼び掛けています。同時に、この場で培った経験と知識が、災害時に地域の人的医療資源としてお役にたてることのできることを推奨しています。

発病してからの医療は当然重要ですが、病気になる前のいわゆる未病の段階。予防医学としても歴史ある鍼灸は、効果を発揮できる場所です。医療・介護財政が困窮している今日、日本の医療保険制度・介護保険制度を守って継続していくためにも、安価で安心・安全な鍼灸は日本の将来において大きな役割を担う事ができるでしょう。

国民の健康、予防、介護、災害などに期待される鍼灸師として、より一層の研鑽を積むことは当然のことです。また、教育制度の変革。鍼灸師における法整備、鍼灸療養費の取扱いに関する改善など問題は山積みですが、すべて同時進行として、全国組織の業団、学会、学校協会等の組織がひとつになって、前に進めようとしています。

国民のために鍼灸業界として何ができるかを日々考え、奮闘し活動しています。

関係各位におかれましては、今後とも御指導、御鞭撻を賜りますよう何卒宜しく御願い申し上げます。



# [特集] 在宅医療のポイント

## ～ 往療とのかかわり方 ～



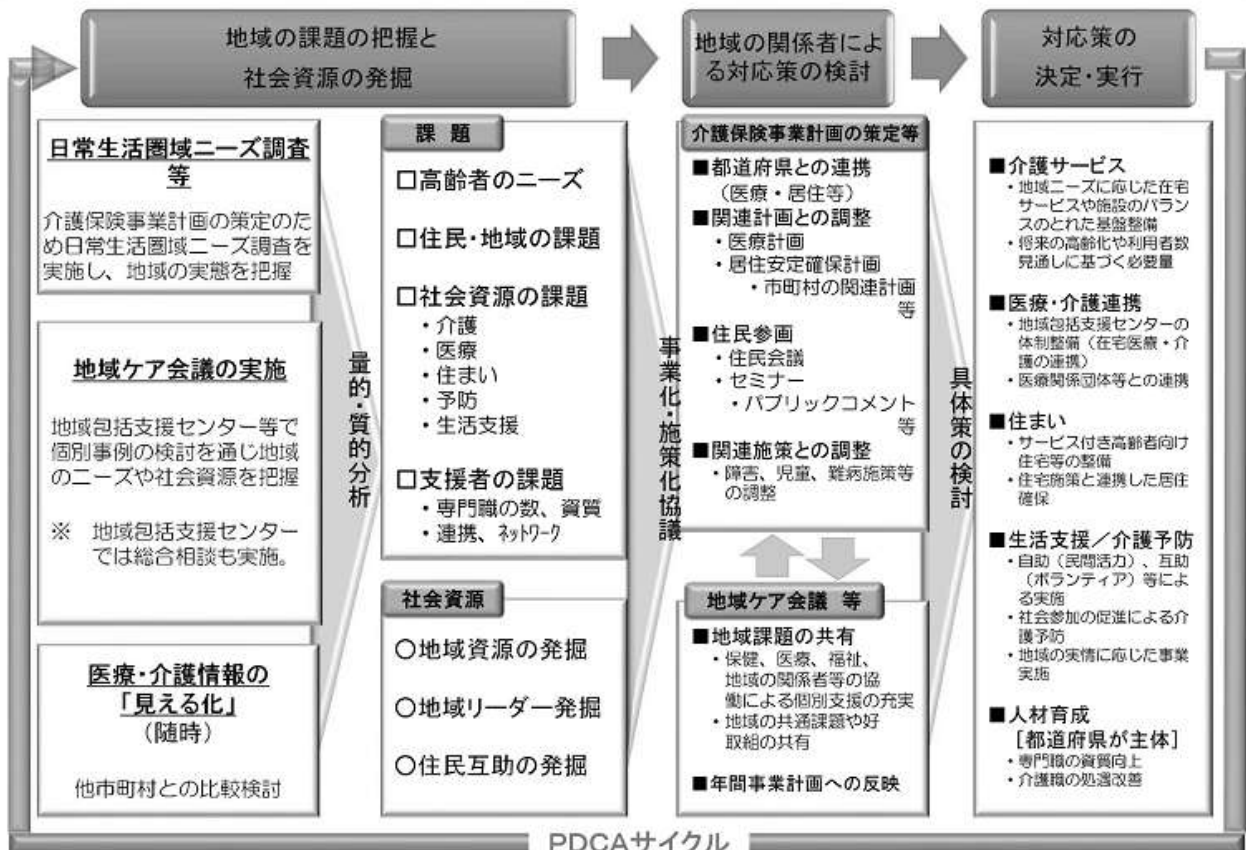
会長 萩野 利赴

私は、鍼灸師として在宅や施設で療養されている高齢者に、鍼灸施術を20数年間行ってきています。在宅往療に、はり師・きゅう師としてどのようにかかわれば良いのだろうか。療養費の取扱いを活用しながら、往療を展開するにはどうすれば良いのか。ひとつの経験を参考にして一緒に考えていただきたいと思います。

### ■これからの日本と地域包括ケアシステム

日本の65歳以上の人口は、現在3,000万人を超えており(国民の約4人に1人)、2042年には約3,900万人でピークを迎え、その後も、75歳以上の人口割合は増加し続けることが予想されています。このような状況の中、団塊の世代(約800万人)が75歳以上となる2025年(平成37年)以降は、国民の医療や介護の需要が、さらに増加することが見込まれています。このため、厚生労働省においては、2025年(平成37年)を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制(地域包括ケアシステム)の構築を推進しています。

### 市町村における地域包括ケアシステム構築のプロセス(概念図)



PDCAサイクル

### ■介護保険の支給限度額と療養費

介護保険制度では、区分支給限度基準額が設けられています。我々の活用している療養費の取扱いによる鍼灸施術は、この限度額の枠外。限度額や自己負担額による課題の中で困っている方は多く見受けられます。

地域の資源活用として大いに鍼灸療養費を活用していただくことが望ましいでしょう。誰に知って頂くか。一番はケアマネージャーそして主治医と介護、医療等の専門職です。

※参考「介護保険制度による1ヶ月の区分支給限度基準額」  
要介護3 269,310点・要介護4 308,060点・要介護5 360,650点（1点は10円）

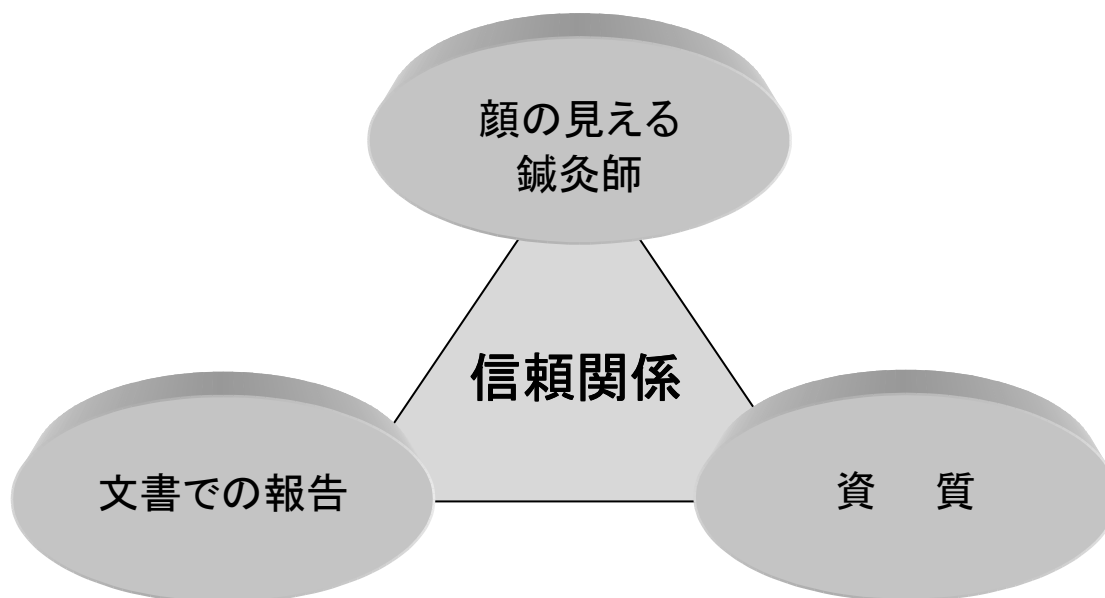
### ■どのようにして知っていただくか

地域で開催されている医療・介護の勉強会、地域包括ケア会議への積極的な参加をして、名前と顔を覚えていただく。ネット環境でのコマーシャル、つまりホームページの立上げ。いまやネット検索の時代です。看板には広告の制限がありますが、ホームページではより詳細な情報提供が発信できます。

### ■医師との信頼関係

療養費を取扱うには、医師による同意書の発行は必須条件です。

まず、医師の立場になって考えてみましょう。主治医は相当な医療・介護サービスの提供に責任をもって指示書などを発行されています。鍼灸師であるあなたに、この患者さんを託せるでしょうか？という信頼関係が大きな課題です。信頼されるためにはどうすればよいのでしょうか？  
まして鍼灸施術です。



この3点は大きな課題となるでしょう。どのような意味が含まれているかを深く掘り下げて考えてみてください。

患者さんの情報は、たくさんありできるだけ時間をかけないで間違いのない情報収集が求められます。

### (1) 患者情報は正確に、敏速に収集しよう

### (2) 点数算定を念押ししよう

同意依頼をするときに、「療養費同意書交付料として、100点ご算定ください」と一言付け加えておきましょう。

### (3) 団体名はブランドになる

同意依頼書に、私は「一般社団法人 和歌山県鍼灸師会会員」という所属団体名を必ず入れます。所属団体名はやはりブランド力を持っているのです。「団体のなかで教育・研修を受けている会員です」というアピール。

### (4) 礼状は忘れず、迅速に

### (5) 再同意は口頭でもよい、となっているが…

再同意は、患者もしくは施術者が医師から口頭同意を得るだけでよいとされています。しかし、文書での再同意の確認をお勧めします。3ヶ月間の症状などを要約して報告すると鍼灸師がどんな情報をもって、どのような施術をしているのかを理解頂き、信頼関係の構築に繋がります。

## ■情報の出入り口になろう

在宅鍼灸医療を始めるには、まず医療制度や介護保険制度を熟知すること。それができれば、他職種との信頼関係構築と連携を図る第一歩を踏むことができるでしょう。

自分は「情報の出入り口」なのだということを意識してほしい。情報は待っていれば入ってくるものではありません。情報をこちらが発信。つまり出すから入ってくるのです。他職種から見てよい鍼灸師の印象ができれば、自然と我々に情報を提供してくれるようになるでしょう。

無駄な労力に思う方、面倒だと思ってしまう方もいるでしょうが、こうした積み重ねが鍼灸師への信頼構築に繋がっていくのだらうと私は信じています。



#### 参考文献

\* 医道の日本 2014年1月号から12月号(8月号を除く)連載

鍼灸師のための在宅往療ポイントレッスン 萩野 利赴

\* 鍼灸OSAKA 116号 地域包括ケアと鍼灸往療 萩野 利赴



## 【特集】 2015紀の国わかやま大会特集

### ①2015わかやま大会に向けて



副会長 中田 浩

平成27年度、10月24日(土)から10月26日(月)に、2015紀の国わかやま大会(第15回全国障害者スポーツ大会)が開催されます。この大会は、オリンピック終了後に開催されるパラリンピックのように、毎年、国民体育大会終了後に開催されています。障害のある選手が、競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の推進に寄与することを目的とした障害者スポーツの全国的な祭典であります。

そしてこの度、紀の国わかやま大会に本会よりボランティアとしてコンディショニンググループへの参加が決まっており、参加競技はボーリング(岩出市)とアーチェリー(日高川町)です。大会参加の話は、平成26年度、県の国体推進局より参加要請の話をいただき理事会を経て参加が決まりました。

## 2015 紀の国わかやま大会

現在、本会でのスポーツボランティアに関しては、主に口熊野マラソン大会であり長年にわたり継続しており、口熊野マラソン大会においては、年々利用者数は増え、平成27年は250人に迫りました。克服しなければならない課題点もありますが、選手のコンディションに対し、鍼灸施術は有効な効果を出せると思いますし、ボランティアに誘っていただいた以上、鍼灸師として少しでも結果を残し、国民の皆様にご貢献したい思いに胸が熱くなります。



(平成27年の口熊野マラソン大会にて)



(平成26年の口熊野マラソン大会にて)

準備の方では、昨年の「長崎がんばらんば大会」に視察に赴き、長崎市のボーリング会場と佐世保市のアーチェリー会場を見学に行ってきました。選手の目の輝き、スタッフの無駄の無い動きや声援、大会の雰囲気を感じました。一方、鍼灸ボランティアでのコンディショニングルームでの良かったところや改善して欲しいところを自分なりにまとめ、県の国体推進局の方へ報告し、より良い環境作りのための折衝をおこない、県もそれに応えてくれています。色々な業界の方々が一になり大会の成功を目指し現在準備を進めています。



(長崎大会のアーチェリー会場)



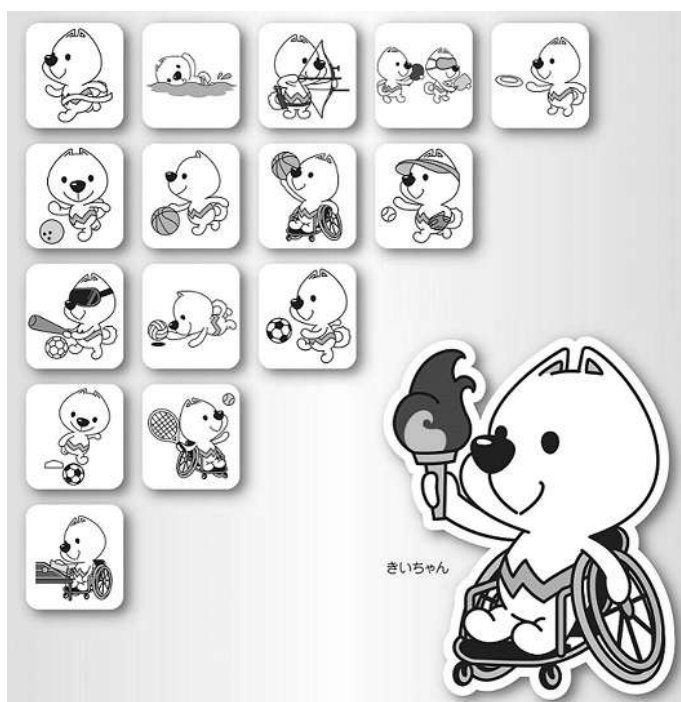
(長崎大会のコンディショニングルームを視察)

和歌山県鍼灸師会としても、平成27年度は、紀の国わかやま大会を中心に考え、研修事業ならびに普及・啓発事業では、9月13日に開催した学術研修会では、『障害者スポーツの鍼灸によるケア』をテーマに岐阜県鍼灸師会会長の小椋 賢二先生にご講演を賜りました。

そして、『紀の国わかやま大会に』挑み、11月23日に開催予定の『第12回 はり・きゆう講演会』では、北出病院 スポーツ整形外科医長 阪田 武志先生に『スポーツケアの重要性とはり・きゆう』をテーマにご講演を賜り、本会の平成27年度のテーマとも言うべき障害者スポーツへの取り組みを締め括りたいと考えています。

全国国民体育大会ならびに全国障害者スポーツ大会は、県下で半世紀に一度の祭典です。

鍼灸師として共に参加し、共に頑張りましょう！



# [特集] 2015紀の国わかやま大会特集

## ②障害者スポーツ選手のサポート方法



財務副部長 藪中浩之

いよいよ紀の国わかやま国体、わかやま大会の開催がせまっております。

平成27年3月22日(日)に那智勝浦町にて障害者スポーツのサポート方法についてご紹介させていただきました中から要点を抜粋してご説明させていただきます。

### 1. 接し方の基本

- ①まずは「何かお手伝いすることはありますか？」の一言から
- ②相手の気持ちを尊重して
- ③コミュニケーションを大切に
- ④必要とするサポートは人それぞれ
- ⑤コミュニケーション方法も人それぞれ

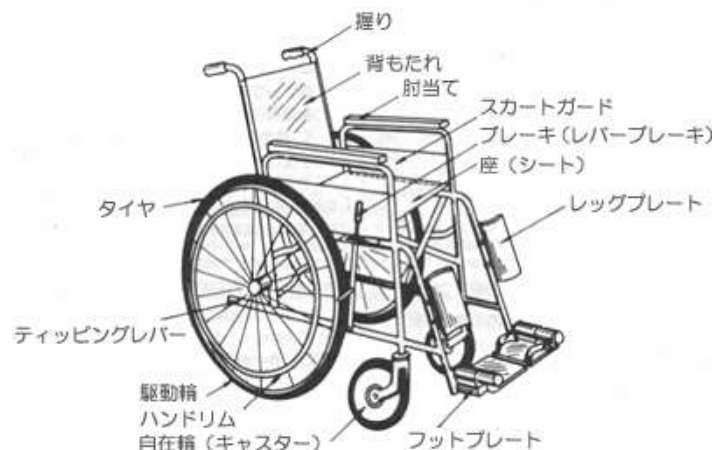


### 2. 車いすのサポート方法

構造を知る	電動の車いすもありますが、一般的によく使用される車いすの構造を知りましょう。
押し方	真後ろに立ち、両手でハンドグリップを握り、ひと声かけて押します。
ブレーキ	ブレーキをかける場合は、両方、忘れずにかけるように。
段差の上がり下がり	上がる時は車いすは前向き。下りるときは車いすは後ろ向き。
階段の上がり下がり	車いすにのせたままの場合は、介助者は4人必要です。原則、上がる時は前向き。下りるときは後ろ向き。
エレベーターでの 乗り降り	乗るとき、降りるときは後ろ向きでおこないます。必要であればエレベーター内で方向を変えます。

#### 【注意点】

- ①車いすを持ち上げる場合は、近くの人に協力してもらいましょう。
- ②安全第一。  
乗っている人に配慮したスピードを心掛けましょう。
- ③車いすは様々な障害をもった人が利用しますので、座っている状態や、押している間も十分に注意しましょう。



### 3. 視覚障害のある方へのサポート

ガイドの基本	①サポートする人が白杖を持つ人の手の反対側に立ち、肘の少し上を握ってもらいます。 ②「進みます」などの声をかけ、半歩前を歩きます。 ③相手のペースに合わせ、ゆっくりと歩きます。 ④障害物に十分注意しましょう。 障害物や道路の状況を常に声かけしながらサポートしましょう。 ⑤説明は具体的にしましょう。 ⑥目的地に着いたり、離れるときは「声かえ」を忘れずに。
--------	---

### 4. 聴覚障害のある方へのサポート

筆談	①文章は短く、言葉解りやすく、難しいことは避けましょう。 ②あえて丁寧な言葉を使う必要はありません。 ③要件が適格に伝わるようにしましょう。 具体例 ×ちょうしょくはしちじでいいですか ○朝食は7時でいいですか
手話	①よく使う言葉を手話で覚えてきましょう。 ②手話は手指だけでなく表情豊かに身体全体で表現しましょう。 ③手話ができる人は名札などにその旨を表記しましょう
口話	①話かけるときは、こちらの口の動きがよく見える位置で、暗い方を背にして立ちましょう。 ②相手は口の開き方を見ますので、相手の反応を見ながらゆっくりと、はっきり話しましょう。

### 5. まとめ

紀の国 わかやま大会は、様々な障害をもった選手が参加されます。

上記は基本的な事ですが、大会ということで普段とは違った環境でのサポートとなりますので、鍼灸施術時や選手誘導時のご参考にお役立ていただければと思います。

障害者スポーツ現場において、普段の鍼灸施術の知識のみでは対応できない場面が多々あるかと思しますので、こういったサポートの知識も準備しておく必要があるのではないのでしょうか。

詳しいサポート内容は和歌山県のわかやま大会HPに掲載されておりますのでご覧ください。

素晴らしい紀の国わかやま大会となりますよう、鍼灸ボランティア活動へのご協力よろしくお願い申し上げます。





## [特集] 2015紀の国わかやま大会特集

### ③スポーツ現場での鍼灸施術の注意事項

平成27年3月22日(日)に那智勝浦町で開催された第1回学術講習会にて、前嶋会員から説明されたスポーツ現場での鍼灸施術の基本的な注意事項をお伝えさせていただきます。



#### 1. 鍼施術における注意事項

- ① ディスポ鍼を使用し、単刺・浅刺とする ※鍔鍼のように刺さずに接触させる刺激も可
- ② 多くの経穴の使用は避ける ※ドーゼオーバーの防止
- ③ 深刺ならびに強刺激はおこなわない ※ドーゼオーバーならびに脳貧血・出血の防止
- ④ 関節腔内への刺鍼はおこなわない ※感染防止のため
- ⑤ 座位での肩への施術は血管迷走神経反射による脳貧血を起こす恐れがあるため禁止とする
- ⑥ 消毒など衛生管理には最善の注意を払うこと

#### 2. 灸施術における注意事項

- ① 多くの経穴の使用は避ける ※ドーゼオーバーの防止
- ② 全灸は禁止とする ※衛生面・火傷の危険、ドーゼオーバーの防止
- ③ 火傷には最善の注意を払うこと

#### 3. その他、注意事項

- ① 施術行為を行うまでに鍼灸師賠償責任保険に加入し、保険適用期間内であること
- ② 鍼灸の業務範囲を著しく逸脱した施術をおこなってはならない
- ③ 問診や養生指導、対話する際には親切・丁寧を心掛けて専門用語は極力さげ、子供でも理解できるように解りやすい言葉で伝えること
- ④ 分別ごみの徹底 ※医療廃棄物用ボックスを準備すること

以上が基本的な注意事項になりますが、現場によっては、実際に刺す鍼は禁止、もしくは灸全般が禁止されるケースもあります。この注意事項を踏まえたうえで現場でのルールに従って鍼灸施術を行うようにしてください。

## 【特集】 新理事に聞く ～鍼灸への熱い思い～

司会

「本日は、平成27年度より理事に就任された、石田理事、濱崎理事に“鍼灸への熱い思い”を語っていただきたいと思います。司会は木下広報部長が勤めさせていただきます。

それでは、早速ですが、石田理事にお尋ねいたしますが、鍼灸をはじめられたきっかけをお聞かせください」

石田理事

「高校生の頃、実は警察官に憧れていて、進路もそちらの方向を考えていたのですが、残念な事に学力が足りませんでした(笑)。それから色々と考え・・・(省略)、手に職を付けようと思い、鍼灸の道に進むことになったのです。ですから、純粋な王道で目指した訳ではないのです。」



司会

「以外とそういう会員も多いのではないのでしょうか。私も前職はシステムエンジニアでした。ところで、小児分野に関心があるそうですが、どのような症状をもった子どもさんが来院されますか？」

石田理事

「0歳～3歳位の子供の割合が多いです。夜泣き・寝つきが悪い・かんしゃくの症状が、来院症状のベスト3です。」

司会

「そんな小さい子どもさんには、どのような施術をされるのでしょうか。」

石田理事

「現在は、プチローラーの小児鍼を使っています。便秘の子どもには、お灸もします。お灸は、カマヤペットを使用しています。ヤケドの心配もないので、使い勝手はイイと思います。」

司会

「お灸も使われるのですね。親御さんの評判も含めて、効果はどうですか？」

石田理事

「自分で言うのもなんですが、まあまあなのではと思いますよ・・・(笑)。」

司会

「では、逆に小児分野で、今まで苦労された経験をお聞かせください。」

石田理事

「施術が終わって、お母さんなどとお話している時に、そこらじゅう触りさがす子どもには困りますねえ。自分の子どもだったら一喝して終わりなのですが、どのくらいの勢いで言ってやればいいのか、いつも考えてしまいます。甘すぎなのかな？」

司会

「小児特有のお悩みですね。今後、小児分野で具体的な取り組みを計画されていますか？」

石田理事

「今のところは、小児はりを知ってもらえるように、数人の会員の方と一緒にごく小規模のイベントなどを開催したりしています。」

司会

「では、最後に本会員に向けてメッセージをお願いいたします」



石田理事

「この度、理事および青年部長を初めて務める事になり、どんな感じで進んでいくのか、自分でも正直よく分かりません。ただ、務めるからには多くの会員の方と一緒に活動していきたいと思っております。少しでも顔を合わせる機会が増える事を期待しております。宜しくお願いいたします。」

司会

「では今度は、濱崎会員にお尋ねしたいと思います。鍼灸をはじめられたきっかけをお聞かせください。」

濱崎理事

「高校野球をしていた時に腰を痛め、暫く良くなり、母にすすめられ怖々行ったのを覚えています。『暫く通えば良くなるよ。』と、言われ半信半疑で通ったのですが、ある日を境にピタッと痛みが治まりました。これは凄い、と思ったのがきっかけで現在に至っております。」



司会

「スポーツ分野にご縁があるそうですが、具体的にどのようなかわりなのですか？」

濱崎理事

「20年くらい前、近所の野球少年(主に中学生)に自宅でバッティング指導をしていました。最初は生徒2人が来て楽しく雑談しながらしていたのですが、気が付けば多い時で8人も来るようになっていました。それがきっかけで少年野球の監督をしてくれないかと頼まれましたが、仕事もあり毎日は見れないので断っていました。休みの日だけで良いのでと言われ承諾しまし

「だが、つつい熱が入り、今では仕事が終わった後、毎日見ている状態です。」

司会

「毎日ですか…ご苦労様です。今までにどのようなスポーツ障害を施術されてきましたか？」

濱崎理事

「野球選手を施術することが多いので、腰痛、野球肘、野球肩がほとんどですが、希に捻挫、肉離れもありました。」

司会

「野球選手となると中高生や小学生も多いと思いますが、施術する上で注意されている点を教えていただけますか？」

濱崎理事

「一般の方に施術をするのと基本的に変わりはありません。ただ子供の場合はハリと言うだけで怖がりますので、気を紛らわせながら怖くないように心がけています。」

司会

「スポーツ障害にかかわる施術をされている会員の方も多いかと思いますが、施術で苦労された経験があればお聞かせください。」



濱崎理事

「特に中高生で強豪校や熱心なチームに所属している場合、練習が毎日あるので中々施術を受けに来れないことがほとんどです。又、レギュラー争いをしている選手は痛みを我慢しながら練習をするので症状がひどい場合もあります。ただ、できるだけ早く、練習に復帰できるように、中々来れない選手には時間外でも施術するように心がけております。」

司会

「ご指導されているからこそ現場の実情がよくお分りになるのですね。それでは、最後に本会員に向けてメッセージをお願いいたします。」

濱崎理事

「野球の指導をしている手前、行き届かないところが多々あると思います。できる限りのことはさせて頂きますので宜しくお願い致します。」

司会

「石田理事、濱崎理事、ご多用のところ、ありがとうございました。短い時間ではありましたが、お話を伺っていると、お二人の人となりが見えてきたように思えます。これからは和歌山県鍼灸師会の理事として、本会をけん引して頂けるよう、全会員を代表いたしましてお願い申し上げます。宜しくお願いいたします。」



# [特集] 第34期鍼灸臨床研修会に参加して



学術部長 中野 正得

平成26年9月13日から3日間、大阪の森ノ宮医療学園専門学校にて公益社団法人日本鍼灸師会第34期鍼灸臨床研修会が開催されました。その研修会に私、中野が参加いたしましたので、その研修内容をご紹介します。

本研修では、肩関節痛・膝関節痛・頸上肢痛・腰下肢痛の鍼灸臨床における、病態・問診・検査・診断を学びました。手から手への実技指導はとても分かりやすく、疾患別に時間割され、毎時間必ず行う冒頭の座学も、実技のための予備知識として行われているものであり、非常にバランスよく配分されていました。学ぶものにとってはこれほど学びやすい研修は他に記憶がありませんでした。指導員の先生方の豊富な知識も去ることながら、「何としてもこれを伝えたいんだ！」という熱い思いに受講生たちも乗せられて、気がつけば、あっという間に過ぎ去った3日間でした。

また、初日の夜には懇親会も催していただき、指導員の先生方や各師会員のみなさんとも交流することができました。

日付	会場	8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	18:30	
9/13 (土)	東京会場 (日本鍼灸会館)							11:30 スタッフ集合	12:45 ~ 13:00		13:00~14:30 意義と目的 レポートの書き方												14:45~18:45 「腰下肢痛の鍼灸臨床」 一病態・問診・診察一 臨床研腰下肢班指導員
	大阪会場 (森ノ宮医療)							11:30 スタッフ集合	開 講 式		13:00~14:30 意義と目的 レポートの書き方											14:45~18:45 「肩関節痛の鍼灸臨床」 一病態・問診・診察一 臨床研肩班指導員	
9/14 (日)	東京会場 (日本鍼灸会館)				9:00~12:00 「膝関節痛の鍼灸臨床」 一病態・問診・診察一 臨床研膝班指導員					12:00~13:00 休憩	13:00~14:00 膝関節痛 診察 膝班指導員												14:15~18:15 「肩関節痛の鍼灸臨床」 一病態・問診・診察一 臨床研頸上肢班指導員
	大阪会場 (森ノ宮医療)				9:00~12:00 「膝関節痛の鍼灸臨床」 一病態・問診・診察一 臨床研膝班指導員					12:00~13:00 休憩	13:00~14:00 膝関節痛 診察 膝班指導員												14:15~18:15 「頸上肢痛の鍼灸臨床」 一病態・問診・診察一 臨床研肩班指導員
9/15 (月) 祝日	東京会場 (日本鍼灸会館)				9:00~12:00 「頸上肢痛の鍼灸臨床」 一病態・問診・診察一 臨床研頸上肢班指導員					12:00~13:00 休憩	13:00~14:00 頸上肢痛 診察 頸上肢班指導員				14:15~16:30 臨床ディスカッション								閉 講 式
	大阪会場 (森ノ宮医療)				9:00~12:00 「腰下肢痛の鍼灸臨床」 一病態・問診・診察一 臨床研腰下肢班指導員					12:00~13:00 休憩	13:00~14:00 腰下肢痛 診察 腰下肢班指導員				14:15~16:30 臨床ディスカッション								閉 講 式

研修修了後から早速、習ったことを施術室に持ち帰って臨床実践していますが、明らかに受講前と受講後では、病態把握がやりやすくなっています。是非、みなさんもスキルアップの千載一遇のチャンスだと捉えて、受講されてみてはいかがでしょうか？詳しくは学術部までご連絡ください。

最後になりましたが、師会長推薦をしていただいた萩野会長、懇切丁寧にご指導いただいた指導員の先生方には、感謝申し上げます。

そして共に学んだ34期のみんな、さらなるステージでの再会を楽しみにしています。

# [特集] (公社)日本鍼灸師会 近畿ブロック青年委員会 1泊研修会 in 和歌山



広報部長 木下真人

近畿ブロック青年部一泊研修会は毎年3月の第2土曜日と日曜日の2日間、近畿ブロック各師会が担当を毎年持ち回りで開催しており、平成27年は和歌山県鍼灸師会が担当いたしましたので、その内容をご紹介します。

## ■第1日目 平成27年3月7日(土)

第1日目は紀伊田辺シティプラザホテルを会場として開催されました。遠方から来られる先生は当ホテルに宿泊していただきました。

午後3時に受付を開始しました。ロビーでは株式会社チュウオーの方が磁気加振式温熱治療器や電子温灸などの実物を展示し、使用させていただくなどの機会がありました。そして午後4時に石田会員の司会のもと開式となり、平成26年度まで青年部長を務められていた前嶋会員が本会を代表して挨拶を述べました。

続いて、本会の中野(正得)会員の『火を使わないお灸“無熱灸”の臨床応用』の研修が始まりました。30分程スライドで“無熱灸”に関する説明があった後、和気あいあいの雰囲気の中、実際に電子温灸を用いた“無熱灸”の実技がありました。中野会員は、電子温灸にもうひと工夫され患者さんが熱を感じなくても効果がでる手技を紹介されていました。実際に被験者になった会員に“無熱灸”を受けた感じを聞いたところ、確かに熱さは感じないが肩や腰の緊張が緩んだと言われていました。



(中野会員の無熱灸の説明)



(無熱灸の施術披露)



(施術効果を確認する)

その後、近畿ブロック青年部長会議が行われ、午後6時には1日目の研修が終了いたしました。この後は、皆さんお待ちかねの懇親会です。猛者の方々は深夜まで交流を深められました。



(懇親会の様子)



(2次会？の様子)

■第2日目 平成27年3月8(日)

第2日目は会場を和歌山県立情報交流センター Big・U に変えて午前9時半から大阪府鍼灸師会理事・普及啓発委員長の丹波徹二先生による『障害者スポーツの関わり方』の研修が始まりました。1時間半の講演でしたが、現場でのいろいろな写真を見せていただき、実際に障害者と接しられたときのエピソードなど貴重なお話を聞くことができました。



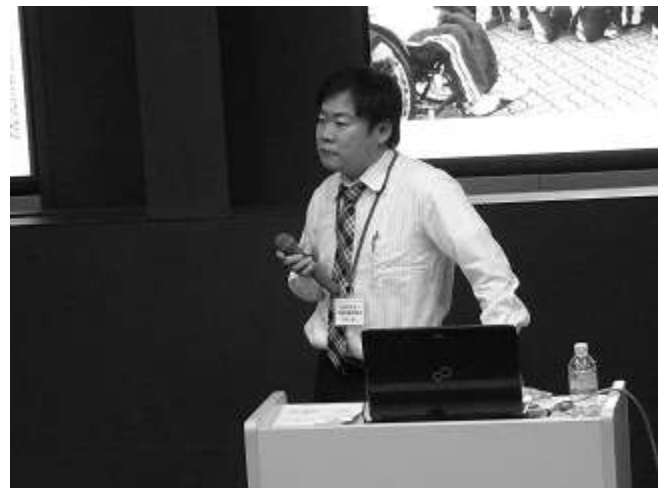
(講師の丹波先生)



(障害者スポーツのかかわり方の講演)



(質問をされる松岡先生)



(質問に対し丁寧にお答えされる丹波先生)

■最後に

青年委員会1泊研修会は、他府県の先生方と経営面や技術・知識面のノウハウなど意見や情報交換できる絶好の機会です。会員の皆様のご参加をお待ちしております。



前列左から、前嶋会員、三浦先生(京都)、隠岐先生(兵庫)、伊藤先生(三重)、松井先生(奈良)、石見先生(大阪)、2列目左端の山崎先生(兵庫)、そして各師会の先生と本会の会員

写真撮影は木下会員

【お知らせ】

次回、平成28年の近畿ブロック青年委員会1泊研修会は三重県で開催される予定です。本会からも何台かの車に分けて参加する予定にしております。また、詳細が決まり次第、参加募集のご案内をさせていただきます。お楽しみにしてください。





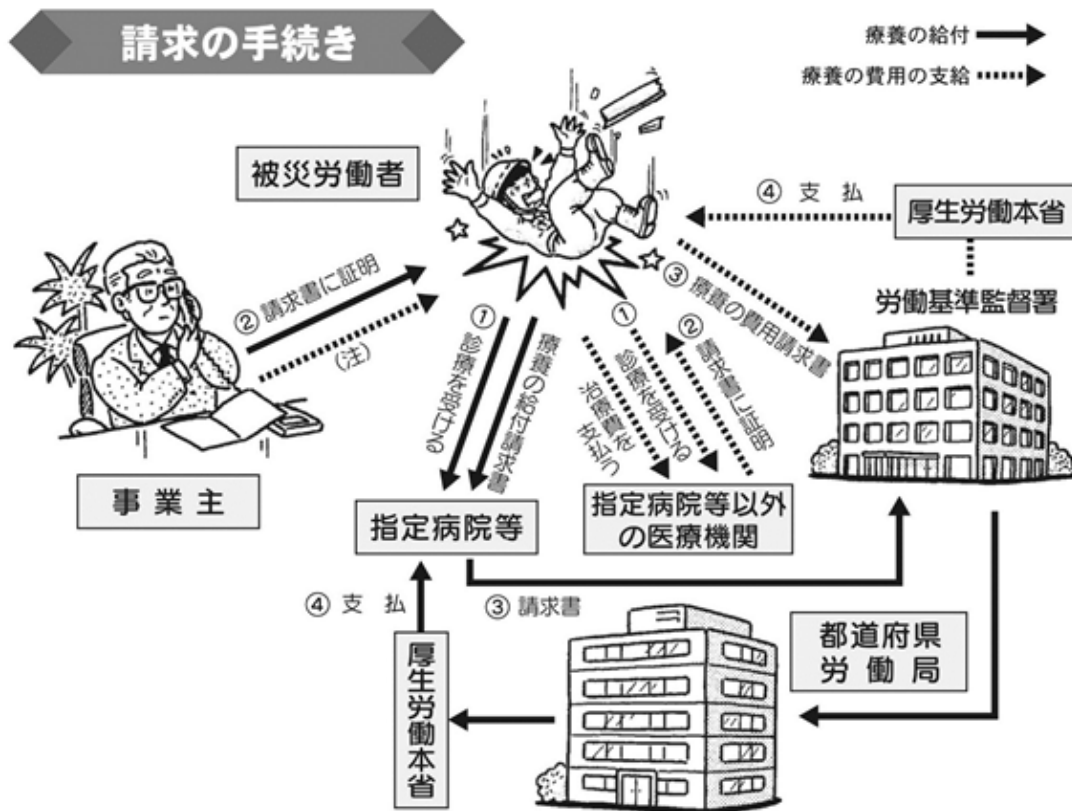
# 保険部より



保険部長 出崎 哲也

平素は保険部活動にご協力賜り誠に有り難うございます。又、毎月の療養費等適正運用委員会にご出席していただいている会員方にもこの紙面をお借りし、御礼申し上げます。

平成27年4月、労働者災害補償保険はり・きゅう取扱い資料を14年ぶりに改訂版として発行することができました。内容は以前の取扱い資料を基に和歌山県労働基準監督署にお願いし、最新資料をいただき更新したものになります。なかなか労災保険を利用する会員はおられないのが現状ですが、まず、労災保険を取り扱う為には労災保険の登録を行わなければなりません。和鍼会へ申し出ていただいて、手続きを行い、和歌山県労働基準局長による施術所の指名を受けていただいてから初めて労災保険を取り扱うことができます。申請から指名まで約1カ月要しますので、取扱い予定のある会員は早めに総務までご連絡ください。次に、労災保険を取り扱うための必要書類を揃えます。業務災害用はり・きゅう請求書、通勤災害用はり・きゅう請求書、医師によるはり・きゅう診断書、施術効果評価表(2種類)、鍼灸師による施術録、症状経過表等を揃えます。こういった流れで労災保険の申請をしていきます。(労働者災害補償保険はり・きゅう取扱い資料 P2 参照)



又、年3回の療養費等適正運用指導会にも、休日にも関わらずたくさんの会員方にご出席いただき誠に感謝しております。

和鍼会は各府県鍼灸師会の指導会よりも厳しい内容かと思いますが、施術録を毎回つける習慣が身に付けば何等問題なくできると思います。施術録が会員方の担保になります。保険者の対応策としても施術録が大事になりますので、引き続き宜しくお願いします。

第2回療養費等適正運用指導会は9月13日(日)和歌山県民文化会館にて、第3回療養費等適正運用指導会は平成28年1月24日(日)和歌山県立情報交流センターBig・Uにて行いますので宜しくお願いします。

後、療養費取扱高に関しましては、平成23年12月に和歌山県後期高齢者医療広域連合よりの通知文以降、翌年の平成24年度は少し減少していますが、平成25年は少し増加しており、平成26年は横ばいの取扱高になっております。

現在、和歌山市・岩出市が国保以外の保険者のひとり親・重身の申請について変更がありました。今後も各市町村も同じ方向性になってくると思われますので、通知があり次第、各会員方にはメール若しくはFAX、郵送でお伝えさせていただきますので宜しくお願いします。



(療養費に関する最新情報を会員に説明)



(那智勝浦町で行われた施術録の指導会)



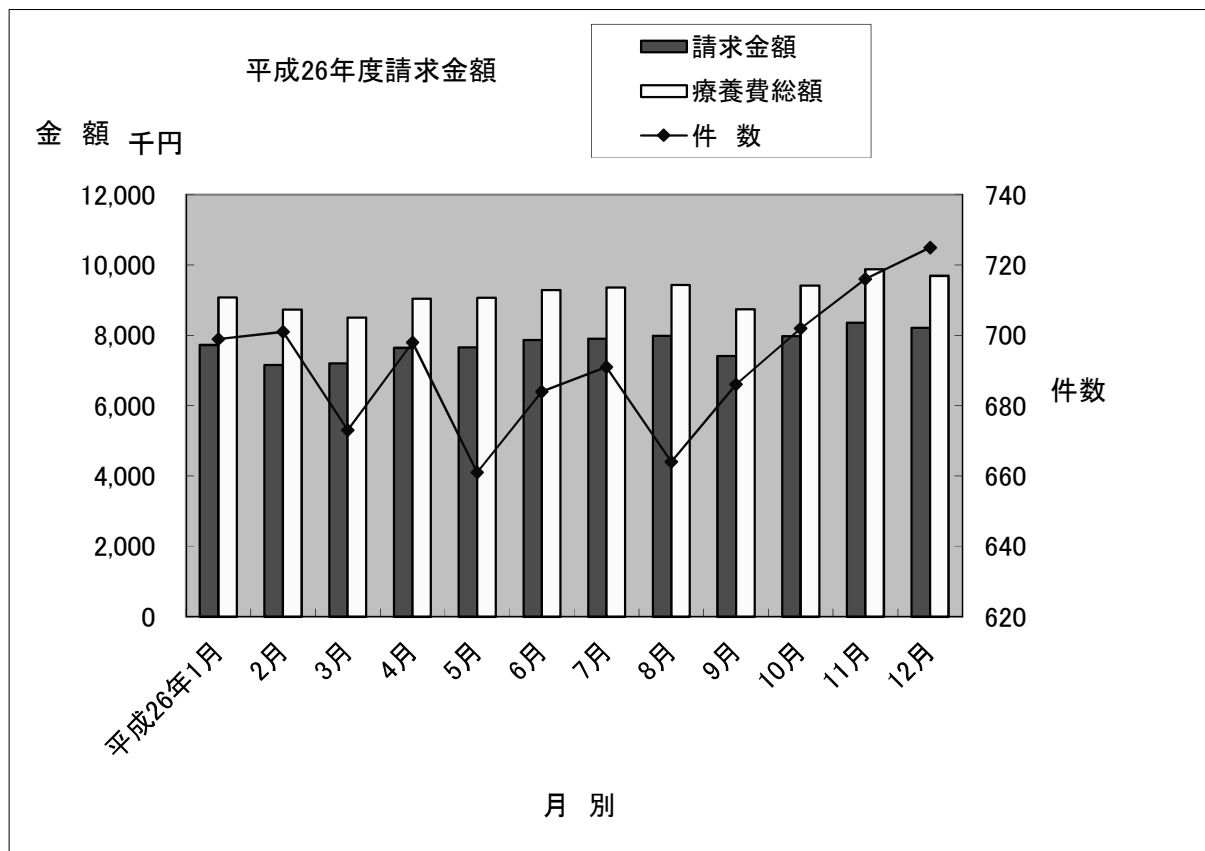
(療養費の申請方法を会員に説明)



(会員作成の施術録に対して丁寧な指導)

## 鍼灸療養費取扱い状況

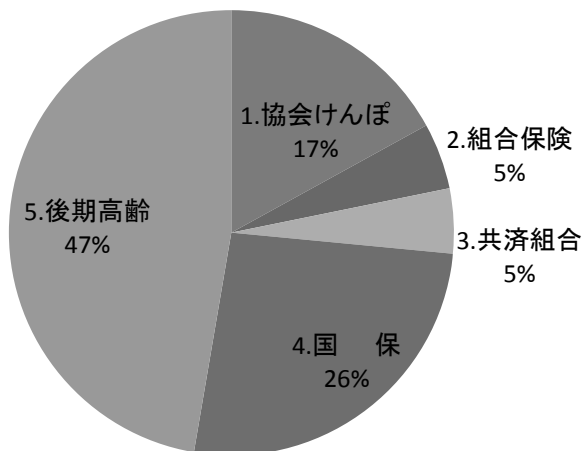
### 1. 平成26年度請求金額



年月	申請数	件数	請求金額	療養費総額
平成26年1月	39	699	7,724,079	9,075,853
2月	40	701	7,159,774	8,735,496
3月	38	673	7,208,552	8,504,330
4月	40	698	7,644,863	9,042,699
5月	38	661	7,663,384	9,065,747
6月	39	684	7,867,492	9,288,688
7月	40	691	7,905,732	9,360,148
8月	38	664	7,981,451	9,430,698
9月	42	686	7,408,250	8,740,641
10月	43	702	7,973,564	9,412,040
11月	42	716	8,362,235	9,874,996
12月	43	725	8,215,226	9,693,945
<b>合計</b>	<b>482</b>	<b>8,300</b>	<b>93,114,602</b>	<b>110,225,281</b>
<b>平均</b>	<b>40</b>	<b>692</b>	<b>7,759,550</b>	<b>9,185,440</b>

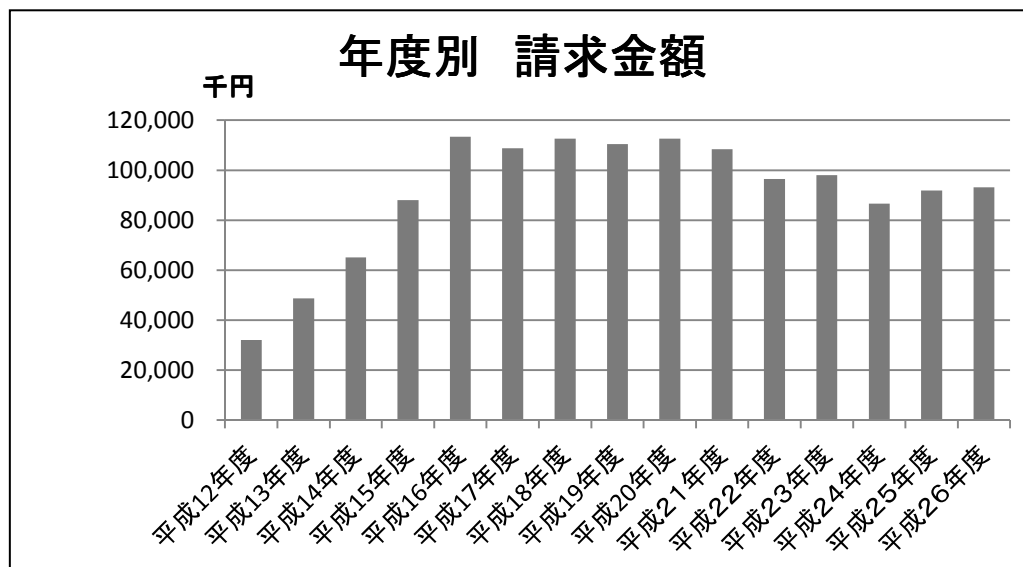
## 2. 平成26年度保険者別請求件数と請求金額

[保険者別請求件数の割合]



保険者別	件数	請求金額
1.協会けんぽ	1,410	8,350,889
2.組合保険	399	1,931,493
3.共済組合	392	1,681,098
4.国保	2,172	17,955,025
5.後期高齢	3,927	63,196,097
合計	8,300	93,114,602

## 3. 年度別請求金額



年度別	請求金額
平成12年度	32,005,277
平成13年度	48,719,713
平成14年度	65,105,530
平成15年度	87,976,501
平成16年度	113,404,645
平成17年度	108,810,673
平成18年度	112,559,642
平成19年度	110,474,582
平成20年度	112,553,746
平成21年度	108,357,999
平成22年度	96,463,045
平成23年度	98,059,390
平成24年度	86,587,441
平成25年度	91,885,069
平成26年度	93,114,602

※年度別請求金額内訳は  
各年度の1月～12月で計算



# 学術部より

## 学術**ぶ**通信



学術部長 中野 正得

### 平成26年度 学術部活動報告

#### ○県民公開講座 第11回 はり・きゅう講演会

平成26年11月9日(日)、県民講座「第11回はり・きゅう講演会」が和歌山県情報交流センター Big・U にて開催されました。

本講座は、県民への鍼灸の普及啓発を目的として毎年開催しており、この交流を通じて、鍼灸をより身近に感じていただきたい、生活の中に鍼灸施術を取り入れて疾病の治癒と予防に、是非我々の技術を活用していただきたいと思っております。

第1部では、和歌山に縁のある元プロ野球選手の中谷仁氏をお招きして、『プロ野球経験から子供たちへ』という演題で大変貴重なお話を聴かせていただきました。

ご講演の途中では、野球少年たちにバッティングやピッチングの指導を実際に行っていただけるサプライズが！これには子供たちも親御さんも大喜びでした。



(元プロ野球選手の中谷氏)



(野球少年にバッティング指導をする中谷氏)

第2部では、本会の茂原会員から、『はりときゅうって何?』という演題で鍼灸に馴染みのない県民の方に向けて、平易な言葉で、分かりやすく鍼灸施術とはどういったものなのかを説明させていただきました。

講演会終了後には、はり・きゅう体験会のワークショップを開き、たくさんの県民のみなさまにはり・きゅうを体験していただき、好評を博しました。



(茂原会員の説明)

## 第1回学術講習会

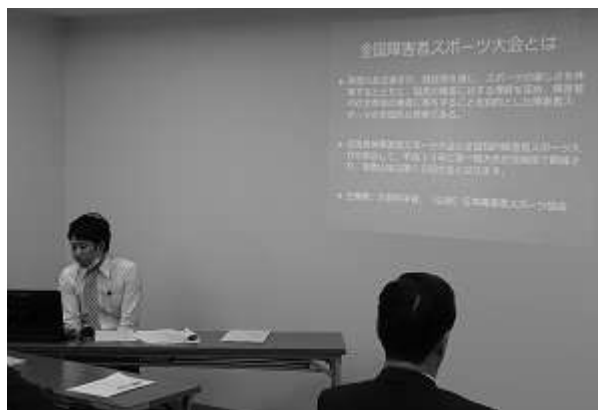
平成27年3月22日(日)、那智勝浦町の Hotel & Renta Car 660 にて、第1回学術講習会が開催されました。学術講習会は、会員の学術向上や、鍼灸院経営の繁栄を目的として、秀でた技能を有した会員による実技講演や、外部から素晴らしい講師をお招きしてお話いただくなど、年数回開催しています。また、本会の会員に発表の機会を持っていただけることで、学会などでの発表の予行練習も兼ねております。

今回の学術講習会は「紀の国 わかやま大会に向けて」というテーマで各会員から説明がありました。説明があった内容と担当の会員は以下の通りです。

- |                    |      |
|--------------------|------|
| ・長崎がんばらんば大会 視察報告   | 中田会員 |
| ・紀州口熊野マラソンボランティア報告 | 前嶋会員 |
| ・スポーツ現場での鍼灸施術の注意事項 | 前嶋会員 |
| ・障害者スポーツ選手のサポート方法  | 藪中会員 |



(長崎国体の視察報告をする中田会員)



(障害者のサポート方法を説明する藪中会員)

そして、日本鍼灸師会臨床研修会レポート発表として、弓場会員から「長頭腱炎から発症した五十肩」について、症例報告をしていただきました。

いわゆる五十肩は、我々鍼灸師が取り扱う疾患の中でも遭遇する機会が非常に多い疾患です。発病因子や、肩部における各疾患との鑑別、鑑別に用いる徒手検査や診察法に実際の施術方法、予後などを弓場会員から詳しく解説していただきました。



(手振り身振りで解説する弓場会員)

最後に一言。鍼灸師は一生勉強です。

学術講習会は、明日の臨床から即実践できる内容を目指して企画しています。

みなさんも、「明日のパン」を見つけにきませんか？

平成27年度 学術部活動計画

○第12回 県民公開講座 はり・きゅう講演会

# 第12回 はり・きゅう講演会

主催 一般社団法人 和歌山県鍼灸師会

## スポーツケアの重要性と はり・きゅう

### 【プログラム】

第1部 13:40～15:20

『当院でのスポーツ整形外科に対する取り組み』  
～スポーツ傷害の予防と早期復帰を目指して～

講師：北出病院 スポーツ整形外科医長

阪田 武志 先生

医学博士

日本整形外科学会専門医(日本整形外科学会認定スポーツ医、  
日本整形外科学会認定リウマチ医、日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医)  
日本体育協会公認スポーツドクター



第2部 15:30～16:00

『第15回全国障害者スポーツ大会

コンディショニンググループ活動報告』

演者：中田 浩 (和歌山県鍼灸師会 副会長)



第3部 16:00～16:30 『はり・きゅう無料体験』

日時：平成27年11月23日(月・祝)

13:30～16:30 (受付 13:00～)

入場  
無料

会場：和歌山県民文化会館 大会議室(5F) 先着80名

和歌山市小松原1丁目1番地 Tel:073-436-1331

皆様お誘い合わせの上、お気軽にご来場ください

お問い合わせ：(一社)和歌山県鍼灸師会事務所 〒643-0033 有田郡布田町朝王寺338-8 フォビル1号  
tel:073-53-1101 Fax:0733-22-0676 <http://www.wakayama-hankyu.or.jp/>

## ○第2回 学術研修会

平成27年12月13日(日) 第2回学術研修会を御坊にて開催いたします。

内容としましては、中野(正得)会員の施術所「中宮院」の見学と症例報告や実際の施術などの実技披露も計画しています。

そして、学術研修会に引き続き会員親睦会を御坊にて予定しております。

御坊市のお隣には日高郡日高町があります。日高町といえば、クエで有名です。毎年10月に開催される奇祭のクエ祭りがあるほどクエには親しみのある土地です。季節的にもお鍋が美味しい時期ですので、お鍋を囲んで親睦を深めるというのいいのではないかと考えております。

また、時期が近づいてきましたら詳細をご案内させていただきますので、ご参加の程、お待ちしております。



## ○第1回 学術講習会

平成28年1月24日(日) 第1回学術講習会を和歌山県立情報交流センターBig・U の研修室4で開催いたします。内容は検討中ですが、会員の皆様に関心のある事を題材にさせていただきます。

## ○(公社)日本鍼灸師会主催 学術関係のご案内

平成27年9月19日～21日 第35期鍼灸臨床研修会

(本会からの参加者はありませんでした)

平成27年10月31日～11月1日 第11回 日本鍼灸師会全国大会 in 神奈川

(萩野会長、中田副会長、中野学術部長 他が参加)

## 最後に～学術部からのお願い～

会員皆様の興味がある分野や開催してみたい講演内容が御座いましたら中野までご連絡ください。

今後の学術部活動に活かしていきたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。



突然ではありますが、学術部から是非紹介したい本が2冊あります。

『医学三蔵弁解』と『医学切要指南』（共に岡本一抱子著・伴尚志現代語訳）です。

著者の岡本一抱（1654年～1716年）は、近世医人中最大のブックメーカーと言われ、「私は素（問）難（経）を心に刻んで五十余年撰述し、彫刻させてきた書物は百二十余巻にのぼります。撰して未だ刻んでいない書物も若干ありますが・・・」と述べているように、数多くの著書を出版しています。

好んで古医書の注釈を試み、諺解書（げんかいしょ）が多く、あるときに一歳上の実兄で江戸文学を代表する近松門左衛門が一抱に、「お前は無学の者が読んでもわかるような諺解を著しているが、このようなことでは原典を読まずに諺解ばかりを読む医者が多くなり、人命を誤る恐れがあるからやめたほうがよい。」と忠告しました。一抱は大いに悟るところがあって、これより以後は諺解を作ることはしなかったというエピソードが紹介されています。

一抱の医学の根底は、劉完素等の高遠難解なものですが、彼が達し得た境地はこれを脱却して甚だ簡素淡明なものになっていて、著書を通じて私たちに指南してくれています。

『医学三蔵弁解』は、下焦精蔵、上焦神蔵、中焦穀府と、人身における根本を整理した上で、施術に応用していくための道筋を示しています。

また、この書を相伝されるべき秘伝の書として用意しました。けれども口授される相伝の書としてしまうと失われる可能性があるため、出版することにしたと自ら述べています。

そして、この相伝の書を書き上げた後さらに研鑽を積んで書き上げられたのが、『医学切要指南』です。

本書では、「水穀によって生じた気は後天の元気であり、腎間の動気の別使である三焦の気は先天の元気です。先天と後天とが一つになって全身を養っているわけです。」と述べた上で、「医道は三焦を眼目とします。病因を察し施術を行うに際してすべて、三焦ひとつを相手にしていることです。（難経の著者の）越人は深く医道の奥義に達して心主・三焦が無形であるということを明らかにしました。後学を導き医源を指南する恵みの実に大きなこと、これを過ぎるものがないほどです。」と医道の本義について論じて、医学三蔵弁解ではまだ語り尽くされていなかった三焦論の奥義をここに明らかにしています。

岡本一抱子はその晩年、この最も単純な場所、人身における秘伝そのものの場所に到達していたわけです。訳者の伴氏が、現代に岡本一抱の魂が甦らんことを祈るという言葉で最後を締めますが、湯液、鍼灸の二道に精通していた学術兼備の名医に学べる機会はいずれの書物だけです。さあ、今すぐ Amazon へアクセス！！





# 青年部より



青年部長 石田 国豊

## 平成26年度 第2回 学術・青年部合同研修会のご報告

平成26年12月21日(日)に石田会員の施術所にて第2回 学術・青年部合同研修会を開催しましたのでご報告いたします。

いしだ鍼灸院は田辺市の高尾山裾野に広がる平野部に位置し、会津小学校に近く、隣には内科クリニックがある住宅地にありました。施術所の中に入るとやさしい木の香りが漂い、こだわりの内装はヒノキや杉などの木材が中心に使われ日の光が入ると何とも言えないやさしい空間になっていました。待合には、患者様からの声や、子供たちが描いた絵がところ狭しと貼られていました。



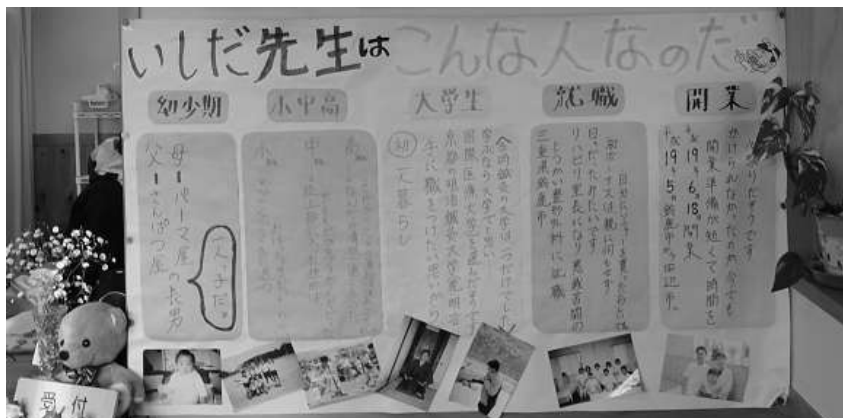
勉強会では、発達障害のお子さんの行動療法の貴重な記録映像を視聴させて頂き、その後、石田会員の発達障害児の施術例やDr、保育士さん、保護者の方とのかかわりかた、関連する書籍の紹介などがありました。

子供の発達や子育てが日々順調に進んでいるかと悩む親御さんにとって、小児はりが架け橋となり、子供の生活を支えているという、この関係性を築かれた石田会員の取り組みが、大変素晴らしく学ぶこ

とが多いと感じた一日となりました。

最後に、それを惜しみなく教えてくださったことに心より感謝いたします。

(文 後藤田会員)



## 第20回紀州口熊野マラソン 鍼灸ボランティア活動のご報告

平成27年2月1日(日)上富田町にて『第20回 紀州口熊野マラソン』が開催されましたので、ボランティア活動のご報告を致します。

平成27年も平成26年に引き続き、近畿ブロックの鍼灸師会の先生方にお越しいただいてのボランティア活動となりました。

今年は昨年と打って変わって、冷え込みが厳しい中でマラソンになりました。その為、無理を強いて走行したランナーも多いように感じ取れました。そんな中、走行前後の身体のメンテナンスという事で、昨年を上回る264名のランナーの皆様方に鍼灸施術をご利用いただき、大盛況のうちに幕を閉じました。

平成28年も『第21回 紀州口熊野マラソン』が開催される予定です。会員の皆様方のボランティア活動への奮ってのご参加お待ちしております。また、ボランティア活動を通じて、更なる鍼灸施術の普及を行いたい所存です。(文 大久保会員)



今回ボランティアに参加してくれた方々です。

前列左から、弓場会員、出口会員、後藤田会員、萩野会長、隠岐先生(兵庫師会)、  
松井先生(奈良師会)、石見先生(大阪師会)

後列左から、森中会員、前嶋会員、澤越会員、寺本会員、吉井(義人)会員、中田会員、大久保会員、  
茂原会員、出崎会員

# 総務部より

## 新入会員紹介



### 船木易教 (平成26年10月4日入会)

- 出身校 明治東洋医学院専門学校
- 免許取得 平成18年
- 御挨拶

初めまして、この度和歌山県鍼灸師会に入会させていただきました船木易教です。  
現在、出張専門で施設や患者様宅に訪問し施術させていただいております。  
未熟者ですので、ご指導ご鞭撻の程、どうぞ宜しくお願いいたします。



### 土井俊治 (平成27年2月1日入会)

- 出身校 明治東洋医学院専門学校
- 免許取得 平成19年
- 御挨拶

初めまして。この度、一般社団法人 和歌山県鍼灸師会に入会させていただきました土井俊治です。  
地域社会の健康増進に少しでも貢献し一人でも多くの方に元気になってもらえるよう日々努力してまいります。  
開業前は岸和田の鍼灸整骨院で鍼灸師として勤務しておりましたが、自分で施術所を持つべく和歌山市に平成23年に鍼灸整骨院を開業させて頂きました。  
これからも日々努力してまいりますので、ご指導の程、宜しくお願い致します。



### 山本佳佑 (平成27年4月1日入会)

- 出身校 関西医療大学
- 免許取得 平成23年
- 御挨拶

初めまして、この度、一般社団法人 和歌山県鍼灸師会に入会させていただきました山本佳佑と申します。ご指導の程、よろしくお願い致します。



## 楠本光佑

(平成27年4月10日入会)

- 出身校 大麻学園四国医療専門学校
- 免許取得 平成22年
- 御挨拶

はじめまして、平成27年度より入会しました楠本といたします。  
私が入会してやりたかったことが2つあります。  
ひとつは、学術研修会等に参加をし、技術や知識を高めていき、施術効果を上げていきたいです。  
もうひとつは会の行っているボランティア活動に参加して、地域の皆様に鍼灸施術を知ってもらいたいです。  
今はまだ入会したばかりで右も左もわからない状態ですが、先輩の会員方にご指導を頂きながら少しでも会の役に立てるよう努めますので、どうかよろしくお願いいたします。



## 初山領

(平成27年7月19日入会)

- 出身校 明治国際医療大学
- 免許取得 平成15年
- 御挨拶

初めまして、この度和歌山県鍼灸師会に入会した初山領と申します。  
免許を取得して、10年程大阪で働いていましたが、地元で開業したかったので、田辺市に戻ってきました。鍼灸の道は険しく、日々勉強させられている若輩ものですが、よろしくお願い致します。

今年もたくさんの新しいパワーが増えました。

ひとりひとりのパワーはそれほどでもなくても、組織で結集すると予想もできないほどの大きなパワーとなります。本会では個々の個性を活かしながら、組織として未来に邁進していきます。



## 会員震災台帳調査表は必要です！

全国各地で突風、雷、ひょう、洪水、記録的な大雨、火山の噴火、気温の上昇等、あらゆる災害が発生しております。そこで和歌山県内における災害に対して和歌山県鍼灸師会は随時「情報収集」、「会員および会員家族の安否確認」を行い必要に応じて日本鍼灸師会へ報告を行っております。

質問:「こんな調べて、仮に自然災害が起こってから役に立つの？」

回答:「役に立つか？ ただの情報だけやろなあ〜」「それも自然災害直後は何もできんやろうけど情報が生きてくるのは、早くて1週間〜10日後になるんとちがうかなあ〜」「備えとかな何も始まらんのちゃう〜」

このような活動を行っている経緯は、阪神淡路大震災が平成7年1月に発生し各地で防災に関する意識が高まりました。平成15年10月を最初に日本鍼灸師会 近畿ブロック会議において、南海、東南海地震発生時における近畿ブロックの連携について審議しました。結果、阪神淡路大震災(平成7年1月)の教訓を生かし、全国と近畿、そして被災するであろう和歌山県との連携することに可決されました。

当時、兵庫県鍼灸師会 佐伯会長から体験談と提議をいただき、災害発生時の混乱時にいかにして、下記の項目を把握することが重要である旨、ご指摘がありました。

### 1. 会員の安否確認を素早くできるか

通信手段が寸断された状態での調査方法が困難であったため、現在の通信システムの最大活用を目的として事前調査が必要。

### 2. 会員の避難場所の確認

会員の避難先が把握できず手間取り困惑したため、事前調査が必要。

### 3. 会員の被災状況調査について

被災状況の確認方法と調査についてスピードが求められる。

### 4. 家族構成について

崩壊家屋に誰が同居しているか、誰がまだ救出されていないか等、消防等との連携に必要。

### 5. 救援物資等の搬送について

家族構成により、例えば女性がいれば生理用品、寝たきり老人がいればオムツ等を必要としていることを師会が把握しておく必要がある。

安否確認、家屋の被災状況により、被災会員は師会に何を求めているか推測し素早く救援物資の発送に取り掛かれるように事前調査と準備の必要がある。

### 6. 被災地区の交通手段

バイク、自転車、船舶のみ有効となり自動車は使用不可と考えるべきである。したがってバイク、船舶を所有し運転可能な会員の協力が重大となる。

以上の経緯から和歌山県鍼灸師会では震災に対応するため、1～6. までを随時事前調査しております。平成26年度中に再度、会員震災台帳調査表を更新するため、現状の調査票を皆さまに配布し更新いただく予定です。ただしこの情報だけでは不十分であり最小限必要な調査票の内容と考えております。

東南海・南海地震では和歌山県は甚大な被害が想定されております。皆さんは、地震のことを想像しておりますか。私の住んでいる地域では、河川の逆流により M9クラスの地震では5～10メートルの津波が予想されており、皆さまの調査票を管理していても活用できない場合があります。そのため、会員震災台帳調査表の情報は、和歌山県鍼灸師会会長はじめ、大阪府鍼灸師会で管理していただいております。

また、被災者は県内全域に及ぶため、皆さまも被災者となるかも知れません。普段からの防災、減災に取り組んでいただき、人を助けるためにはまず自身が無事でなければなりません。東南海・南海地震に遭遇しお互いが被災者同士となる状況を想像すると、目の前でやらなければならないことがあるのに時間をかけての安否確認には、限界があります。そんな時には、携帯電話のメール機能を活用し「大丈夫か?」「大丈夫!」と連絡できれば、1分もかかりません。現在のネット環境は大変優れておりこのような連絡方法を選択しては如何でしょうか。和歌山県鍼灸師会の安否確認に関わらず、普段からの情報共有はご家族・ご親戚・お知り合いにも同じことができるのではないのでしょうか。

あらゆる自然災害に備え、会員震災台帳調査表を活用していく予定です。現在提出いただいている内容に変更等があれば、総務部までご連絡ください。

## きしゅう君の家 登録について

きしゅう君の家 防犯活動とは、平成18年5月から犯罪や事件から子供達を見守るため、和歌山県警察本部ならびに和歌山県教育委員会との連携により、和歌山県鍼灸師会は「きしゅう君の家」として会員施術所を登録しております。登録された会員の氏名、施術所所在地、住所及び電話番号は、和歌山県警察本部、県教育委員会、県下の小学校等に情報が通知されます。

緊急の場合に、子供達が助けを求められることができる「きしゅう君の家」これは特別な施設ではなく、この制度にご協力いただける施術所や一般家庭の地域住民が、犯罪に巻き込まれそうな子どもの安全を確保し、110番通報することが第一の目的であります。

きしゅう君の家



一般社団法人 和歌山県鍼灸師会

和歌山県警察本部 警察署



## 入会のご案内

本会は、昭和63年に社団法人和歌山県鍼灸師会として誕生し、平成25年度から一般社団法人和歌山県鍼灸師会へと移行し新たなスタートをきっております。

近年、鍼灸施術はその効果をメディア等でも注目されてきておりより一層高いクオリティを求められております。

医療業界においても「チーム医療」の体制である今、鍼灸専門の職能団体として「チーム鍼灸」の形が必要ではないでしょうか？

**『all for one・one for all』 ～一人はみんなの為に、みんなは一人の為に～**  
 あなたの力が必要です。共に活動していきましょう！！

※主な事業内容（ホームページもご覧ください）

(1) 鍼灸学術の医学的研究

【学術講習会、専門領域研修会、公益社団法人日本鍼灸師会 全国大会 etc.】

※治せることができる鍼灸師 そのためには勉強と先輩との出会い！

(2) 鍼灸施術の普及啓発

【ホームページ等で情報公開、スポーツボランティア活動、県民公開講座】

※多くの県民の方々に鍼灸の素晴らしさを体感していただいております！！

(3) 鍼灸業務の振興及び地域貢献【災害時鍼灸ボランティア活動 etc.】

※東日本大震災や台風災害時にも参加してきました。将来に備えましょう！

(4) はり師・きゅう師の資質向上および指導【講習会及び会員ディスカッション etc.】

※もっと国民や他の医療機関から信頼され、豊かな鍼灸師になる為には？

(5) 鍼灸療養費制度【鍼灸療養費制度等適正運用の説明会】

※療養費制度を正しく理解して、しっかり活用しましょう！！

全国的にもトップレベルな資料をご用意し説明をさせていただきます

(6) 鍼灸賠償責任保険・所得補償保険・日鍼会保障プランをご用意

※ご入会いただける方は、和歌山県に居住し、又は県内で業務を行う医師又は、はり師もしくは、きゅう師であって この法人の目的に賛同し入会した者にかぎりです。（定款より）

入会金		入会金 10,000円
年会費	公益社団法人 日本鍼灸師会	年会費 15,000円
	一般社団法人 和歌山県鍼灸師会	年会費 20,000円
合計		合計 45,000円

詳しくは、事務所または HP でお気軽にご相談、お申込みください。

# 広報部より

## 和歌山県鍼灸師会HP活用のご案内

現在、HP から下記の資料をダウンロードできるようになっています。

療養費関係	療養費等適正運用資料
	鍼灸療養費料金早見表
	労働者災害補償保険 はり・きゅう取扱い資料
定款	定款
	定款施行規則
各種申請書	新規施術患者件数(保険者別)
	申請理由書(施術20回超)
	各種用紙申請書
	旅費申請書
その他	ブロック別連絡網(紀北・和歌山・紀中・紀南)
	各年度の事業報告、決算報告、事業計画、予算
	会長の活動予定

今後、必要に応じ、各種資料を随時HP上に公開していく予定にしておりますが、何かご要望ございましたら、HPの「お問い合わせ」からご連絡をお願いします。

## 和歌山県鍼灸師会 各研修会、講習会での動画のご案内

現在、会員専用ページから会員のみですが、下記の動画を閲覧することができます。

肖像権等の難しい問題があり会員のみでの閲覧とさせていただきます。今後、研修会、講習会の内容を動画で記録し、本会の動画ライブラリーにしていきたいと思っております。ご活用お願いいたします。

### 各種講習会・研修会内容

(公社)日本鍼灸師会 近畿ブロック青年委員会一泊研修会 in和歌山 (平成27年8月7日～8日) <a href="#">写真集はこちらからどうぞ</a>	<a href="#">『火を使わないお灸“無熱灸”の臨床応用』(解説編)</a> 和歌山県鍼灸師会 中野正得先生
	<a href="#">『火を使わないお灸“無熱灸”の臨床応用』(実技編)</a> 和歌山県鍼灸師会 中野正得先生
	<a href="#">『障害者スポーツの関わり方』</a> 大阪府鍼灸師会 丹波徹二先生 ※個人情報が多数含まれていますのでHPでの動画公開は控えさせていただきますが、視聴希望の方がございましたら広報までご連絡ください。

推薦図書のご案内



『大人問題』 著者:五味太郎

「絵本はどこから読んでもいい」  
 「子どもはなぜみんな学校に行くのか？」など  
 物事を斜めから見てみると、普段と違う景色を見る事で、当たり前が当たり前でない時のなんととも言えない心のリラックスを感じる事ができる本です。息抜きにいかがでしょうか。



『大法輪 特集<呼吸法>を知るために』

古くから仏教者が実践してきた呼吸法や、インドのヨーガ、中国の太極拳、日本の古式体術など、さまざまな伝統の中で育まれてきた呼吸法の数々を紹介されています。

呼吸は生きていく上で最も基本的なことです。一度原点に還って見つめなおしてみるのもいいかもしれません。平成26年4月発行なのでバックナンバーでしか購入できませんが、在庫はあるようです。興味のある方はお早目に。

(※購入サイト <http://www.daihorin-kaku.com/book/b166547.html>)



『なぜ一流の男の腹は出ていないのか?』

著者:小林一行

なぜか、本の題名にドキッとしてしまいます。実は、去年の石田会員の施術所見学で、施術所内におかれていた本です。覚えておられる会員もいるのではないのでしょうか。施術所見学の後日、早速購入し恐る恐る読んでみると、なんと男性向けの真面目なダイエット本でした。中年男子の皆様、一読をお勧めいたします。

## ＜平成27年度 一般社団法人 和歌山県鍼灸師会 定時会員総会 概略＞

平成27年5月17日(日) マリーナシティわかやま館3F 302会議室に於いて開催された。

第1～5号議案 平成26年度事業報告、平成26年度収支決算報告、平成26年度監査報告、平成27年度事業計画(案)、平成27年度収支予算(案)は会場より意義無く、原案通り賛成挙手多数で承認可決された。

第6号議案 任期满了による役員改選の件

本年度は、任期满了による役員改選の年となり、平成27、平成28年度 選任された理事および監事は次の通りである。

理事 萩野 利赴	理事 中田 浩	理事 木下 真人	理事 出崎 哲也
理事 中野 正得	理事 石田 国豊	理事 濱崎 正人	
監事 中 美博	監事 小田 郁代		

その他報告事項

1. 公益目的支出計画実施報告書 進捗報告
2. はり・きゅう講演会について
3. 紀の国 わかやま大会 ボランティアについて
4. 知事感謝状・会長感謝状  
大田真史会員が知事感謝状を受賞された旨、報告なされた。  
萩野会長より、前嶋拓也会員、藪中浩之会員が会長表彰された。
5. 新会員紹介(平成26年度定時会員総会以降入会者)  
計7名。出席者の大久保明信会員、松本洋二郎会員、船木易教会員、土井俊治会員。
6. その他報告事項  
萩野利赴会長より、当日開催された第2回理事会の報告がなされた。
  - 1)平成27、28年度 新役員等の選任について
  - 2)療養費制度等適正運用委員の件、理事会にて検討
  - 3)第1回学術研修会の件
  - 4)(公社)日本鍼灸師会主催の平成27年度第35期 鍼灸臨床研修会師会長推薦者公募について
  - 5)(公社)日本鍼灸師会より災害医療対策委員会について
  - 6)定款施行規則 第7章(療養費適正運用委員会手当て) 第8条3の改定について



## 平成26年度 事業報告

一般社団法人 和歌山県鍼灸師会  
会 長 萩野 利赴

### 1. 会員状況

平成26年4月1日	増 加	減 少	平成27年3月31日
64名	淡路 芳久 大久保 明信 西馬 武彦 山本 みどり 松本 洋二郎 船木 易教 土井 俊治 (7名)	吉井 義郎 山本 海盛 建石 修 (3名)	68名

### 2. 平成26年度 事業報告

#### (1) 一般社団法人 和歌山県鍼灸師会関係

和鍼会監査 5月6日 和鍼会事務所  
 定時会員総会 6月1日 県民交流プラザ 和歌山ビック愛 504号室  
 会員親睦会 12月21日 磊風八 (らいふうや)

理事会 (第1回) 平成26年5月6日 和鍼会事務所  
 (第2回) 平成26年9月7日 和鍼会事務所  
 (第3回) 平成26年10月26日 日高別院境内 御堂会館

FAX理事会 (第1回) 平成26年4月14日 (第8回) 平成26年10月2日  
 (第2回) 平成26年6月1日 (第9回) 平成26年12月16日  
 (第3回) 平成26年6月10日 (第10回) 平成26年12月19日  
 (第4回) 平成26年7月5日 (第11回) 平成27年1月14日  
 (第5回) 平成26年7月25日 (第12回) 平成27年1月29日  
 (第6回) 平成26年7月29日 (第13回) 平成27年2月25日  
 (第7回) 平成26年8月1日

#### 1. (一社) 和歌山県鍼灸師会関係

##### 公益法人

公益目的支出計画実施報告書 (作成質問) 5月28日 総務学事課  
 公益目的支出計画実施報告書 (提出) 6月14日 総務学事課  
 公益目的支出計画実施報告書 (電子申請) 6月26日 和歌山県 公益法人行政担当

**総務部**

各事業援助	随 時	和鍼会事務所
新入会員手続き、名簿作成	随 時	
公益法人 資料作成	随 時	
理事会準備（総務部）	随 時	
その他 各部に属さない業務	随 時	
消費税の転嫁状況に関する調査	5月24日	経済産業省
定時会員総会知事への報告	6月14日	医務課
台風11号 会員安否確認	8月10日	
消費税の転嫁拒否等に関する調査	8月10日	
台風18号 会員安否確認	10月6日	
台風19号 会員安否確認	10月12日	
選挙管理責任者および選挙管理者推薦	12月22日	日鍼会事務局

**財務部**

和鍼会会計監査	5月6日	和鍼会事務所
毎月銀行振込、各部会収入・支出管理	随 時	
公益資料作成	随 時	和鍼会事務所
26年度決算書作成	随 時	中田鍼灸院
27年度予算案作成	随 時	中田鍼灸院

**保険部**

療養費制度等適正運用委員会	毎月6日	和鍼会事務所
制度改革における各種折衝	随 時	保険者等
療養費支給申請書類等の用紙印刷	随 時	
療養費取扱い新人研修	随 時	和鍼会事務所
療養費等適正運用資料 改訂	随 時	
第1回療養費制度等適正運用指導会	6月1日	和歌山ビック愛 504号室
地域包括ケアシステム（保険者訪問）	9月4日	田辺市役所 介護保険課
地域包括ケアシステム（会員アンケート）	9月7日	
第2回療養費制度等適正運用指導会	10月26日	日高別院境内内 御堂会館
地域包括ケアシステム要望書提出（訪問）	11月26日	県庁 長寿社会課
第3回療養費制度等適正運用指導会	3月22日	Hotel & RentaCar660
労働災害補償保険 はり・きゅう取扱い資料発行	3月22日	

**学術部**

第1回学術・青年部合同研修会（竹中会員）	7月27日	和鍼会事務所
第11回はり・きゅう講演会	11月10日	情報交流センターBig・U(多目的ホール)
第2回学術・青年部合同研修会（石田会員）	12月21日	石田会員施術所見学及び勉強会
第1回学術講習会（弓場会員）	3月22日	Hotel & RentaCar660



**広報部**

催事の広報活動	随 時	
ホームページ更新	随 時	
会員情報管理システム入力	随 時	
お近くの鍼灸院、きしゅう君の家（会員名簿更新）	4月1日	
会員情報管理システム構築	6月22日	
会員情報管理システム作成	8月31日	はぎの鍼灸院
会員震災台帳確認作業	9月6日	
第22号 会報誌発行	10月6日	
お近くの鍼灸院、きしゅう君の家（会員名簿更新）	10月11日	
はり・きゅう講演会用和鍼会紹介ムービー作成	11月1日	
会員震災台帳確認作業	11月6日	
HP用和鍼会紹介ムービー作成	11月11日	
入会パンフ作成	12月24日	
入会パンフ各養成校へ発送	1月28日	
入会パンフ会員発送	2月6日	

**青年部**

第1回学術・青年部合同研修会（竹中会員）	7月27日	和鍼会事務所
第2回学術・青年部合同研修会（石田会員）	12月21日	石田会員施術所見学及び勉強会
第20回紀州口熊野マラソンボランティア	2月1日	上富田文化会館

**2. 近畿ブロック関係**

近畿ブロック鍼灸師法専門チーム 協議会	7月13日	大阪府鍼灸師会館
近畿ブロック 会議	9月27、28日	御所西 京都平安ホテル
京都府 井上慶山先生 叙勲を祝う会	2月8日	ホテルグランヴィア京都 古今の間
近畿ブロック保険部長会議	2月22日	大阪府鍼灸師会館
近畿ブロック 青年部長会議	3月7日	紀伊田辺シティプラザホテル
近畿ブロック 青年委員会一泊研修会	3月7、8日	紀伊田辺シティプラザホテル 情報交流センターBig・U
近畿ブロック鍼灸師法専門チーム 協議会	3月29日	大阪府鍼灸師会会館

**3. (公社) 日本鍼灸師会関係**

日本鍼灸師会第63期学術講習会	4月13日	森ノ宮医療学園専門学校
日本鍼灸師会 通常代議員総会	6月8日	ステーションコンファレンス東京
日本鍼灸師会第63期学術講習会	6月29日	兵庫県民会館パルテホール
日本鍼灸師会第63期学術講習会	7月6日	兵庫県民会館パルテホール
第34期鍼灸臨床研修会（中野正得会員）	9月13～15日	森ノ宮医療学園専門学校
第10回（公社）日鍼会 全国大会IN岐阜	10月12、13日	岐阜 じゅうろくプラザ
日本鍼灸師会第63期学術講習会	11月2日	森ノ宮医療学園専門学校
第5回臨床鍼灸スポーツフォーラム	11月16日	ホテルメトロポリタン長野
全国師会長会議	11月30日	日本鍼灸会館 2階講堂

#### 4. その他

紀南地区在宅ケア研究会 講演会	4月13日	紀南文化会館 小ホール
わかやま大会ボランティア (打合せ)	5月27日	紀州接骨鍼灸院
山梨県鍼灸師会 第2回学術講習会 「在宅鍼灸治療と介護保険」	7月27日	山梨県 ぴゅあ総合小研修室2
鍼灸ネット取材 (国民の為の鍼灸医療推進機構) 「在宅ケアと鍼灸」地域包括ケアに向けての現場と一提案	8月7日	はぎの鍼灸院
会員家族訃報 (尾谷会員)	8月21日	堺市立斎場 第2式場
吉井義郎名誉会員訃報	8月24日	吉井義郎先生宅
長崎がんばらんば大会 (視察説明)	10月8日	中田鍼灸院
長崎がんばらんば大会 (視察)	11月1、2日	長崎県全域
大阪府鍼灸師会河南支部 講演	11月23日	白浜町 浜木綿 くろしお山荘
保健衛生 (医事) 功労知事感謝状 大田真史	12月8日	ホテル アバローム紀の国 鳳凰の間
和歌山県医療推進協議会役員会	12月11日	ホテル アバローム紀の国 鳳凰の間
大阪府鍼灸師会 新年互礼会	1月4日	シティプラザ大阪
新年名刺交換会	1月5日	正庁
日本介護支援専門員協会全国大会 (第8回 日本介護支援専門員協会全国大会in和歌山 第14回 近畿介護支援専門員研究大会 和歌山大会)	2月14、15日	紀南文化会館

※平成27年5月17日に開催された和鍼会定時会員総会の様子



議長の茂原会員



理事を退任された竹中会員、藪中会員、前嶋会員



平成27・28年度の役員挨拶

(左から、萩野会長、中田会員、木下会員、石田会員、濱崎会員、出崎会員、小田会員)

## 平成27年度 事業計画

一般社団法人 和歌山県鍼灸師会  
会 長 萩野 利赴

和鍼会監査	4月29日	和鍼会事務所
定時会員総会	5月17日	和歌山県立わかやま館 302会議室
理事会	年3回以上～議題により随時開催予定（FAX理事会含む）	
療養費委員会	毎月1回 6日	又は前後1日
会員親睦会	12月13日	御坊市内予定

### 1. 一般社団法人和歌山県鍼灸師会関係

#### 会 長

県庁関係 挨拶廻り	1月上旬	和歌山県庁
新年名刺交換会	1月上旬	和歌山県庁

#### 総務部

各事業援助	随 時	
新入会員手続き、名簿作成	随 時	和鍼会事務所
理事会準備（総務部）	随 時	
理事会	随 時	
その他 各部に属さない業務	随 時	

#### 財務部

和鍼会会計監査	4月29日	和鍼会事務所
毎月銀行振込、各部会収入・支出管理	随 時	
会計資料作成	随 時	和鍼会事務所
公認会計士との折衝	随 時	会計事務所
次年度予算案作成	3月頃	和鍼会事務所

#### 保険部

療養費制度等適正運用委員会	毎月6日	和鍼会事務所
制度改革における各種折衝	随 時	県後期高齢者医療広域連合他
療養費支給申請書類等の用紙印刷	随 時	
療養費取扱い新人研修	随 時	和鍼会事務所
保険者挨拶廻り	随 時	広域連合・協会けんぽ・国保連他
第1回療養費制度等適正運用指導会	5月17日	わかやま館 302号室
第2回療養費制度等適正運用指導会	9月13日	和歌山県民文化会館 大会議室
第3回療養費制度等適正運用指導会	1月24日	情報交流センターBig・U

**学術部**

第1回学術研修会	9月13日	和歌山県民文化会館 大会議室
第12回はり・きゅう講演会(県民公開講座)	11月23日	和歌山県民文化会館 大会議室
第2回学術研修会	12月13日	中野正得会員施術所見学及び勉強会
第1回学術講習会	1月24日	情報交流センターBig・U

**広報部**

ホームページ更新	随時	
催事の広報活動	随時	
会員名簿・会員台帳更新	随時	
講習会・研修会データ保存及び公開	随時	
「きしゅう君の家」ステッカー送付	4月29日	
「きしゅう君の家」登録会員報告	5月6日	教育委員会及び和歌山県警
新理事名刺作成	5月18日	
日鍼会への27年度活動予定送付	5月18日	日鍼会
第23号 会報誌発行	10月6日	
入会案内パンフレット作成	1月初旬	
鍼灸師養成校への入会案内発送	1月下旬	
新入会者への案内依頼発送	2月6日	
日鍼会への27年度活動報告送付	3月下旬	日鍼会

**青年部**

紀の国わかやま障害者スポーツ大会 (アーチェリー・ボウリング) ボランティア	10月24、25日	岩出市・日高川町
第21回紀州口熊野マラソン大会ボランティア	2月7日	上富田文化会館

**2. 近畿ブロック関係**

近畿ブロック鍼灸師法専門チーム	10月3、4日	(兵庫県) 神戸三宮 六甲荘
近畿ブロック会議	10月3、4日	(兵庫県) 神戸三宮 六甲荘
近畿ブロック保険部長会議	2月頃	大阪府鍼灸師会館
近畿ブロック青年部長会議	3月12日	三重県内予定
近畿ブロック青年部一泊研修会	3月12、13日	三重県内予定

**3. (公社) 日本鍼灸師会関係**

日本鍼灸師会 通常代議員総会	6月7日	日本鍼灸理療専門学校(渋谷校)
第6回臨床鍼灸スポーツフォーラム	8月30日	(北海道) 札幌サンプラザ
第35期鍼灸臨床研修会	9月19~21日	東京都
第11回(公社)日鍼会 全国大会 IN 神奈川	10月31、1日	(神奈川県) パシフィコ横浜
全国保険部長会議	11月1日	(神奈川県) パシフィコ横浜
第5回JIMTEF 災害医療研修	11月頃(2日間)	東京都
全国師会長会議	11月29日	日本鍼灸会館

#### 4. その他

医療推進協議会 理事会	未 定	県民文化会館
医療推進協議会	未 定	場所未定
地域包括ケアシステム	随 時	各市町村
紀の国わかやま国体（準備品協議）	4月8日	中田鍼灸院
第64回（公社）全日本鍼灸学会 学術大会 ふくしま大会	5月22～24日	（福島県）ビッグパレットふくしま

### 平成27・28年度 役員紹介

【代表理事】 1名

萩野 利赴

【業務執行理事】 6名

中田 浩 木下 真人 出崎 哲也 中野 正得 石田 国豊 濱崎 正人

【会 長】 萩野 利赴

【副 会 長】 中田 浩 木下 真人

【監 事】 中 美博 小田 郁代

【総務部長】 木下 真人 【副部長】 萩野 利赴 濱崎 正人

【財務部長】 中田 浩 【副部長】 藪中 浩之 出崎 哲也

【保険部長】 出崎 哲也 【副部長】 中野 正得 弓場 穰

【学術部長】 中野 正得 【副部長】 坂本 浩一 後藤田 有美

【広報部長】 木下 真人 【副部長】 茂原 仁 寺本 享央

【青年部長】 石田 国豊 【副部長】 土井 隆弘 大久保 明信

IT 委員長 木下 真人 副委員長 茂原 仁  
裁定審議委員長 中 美博 副委員長 小田 郁代

### 療養費制度等適正運用委員会(13名)

療養費制度等適正運用委員長 中野 正得  
副委員長 寺本 享央

療養費制度等適正運用委員

常勤 萩野 利赴 中田 浩 木下 真人 出崎 哲也  
石田 国豊 濱崎 正人 藪中 浩之

A 班 森中 幸雄 川南 昭  
B 班 尾谷 正剛 土井 隆弘

\*\*\*編集後記\*\*\*

平成27年9月26日から2015紀の国わかやま国体が開催されました。国体開催に伴い、8月30日には紀勢自動車道 南紀白浜IC - すさみ南ICが開通いたしました。そして、「特集」でもありました通り平成27年10月24日から2015紀の国わかやま大会が開催されます。和歌山県下では国体・大会による機運が高くなっていますが、同じ国内では、箱根山の噴火警戒レベルが1から2に上がったり、鹿児島県・桜島の噴火警戒レベルが「入山規制」の3から「避難準備」の4に引き上げられるなど、改めて日本が火山列島とも言われていることが感じさせられる日々でもありました。

そのような中、私たち和歌山県鍼灸師会は本年度役員改選をおこない新たな役員と共に平成27年度を歩みだしました。これからも和歌山県鍼灸師会一丸となり、県民の皆様の健康をサポートするよう努力してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

広報部長 木下真人

表紙の写真:熊野那智大社 (撮影 弓場会員)

熊野夫須美大神(イザナミノミコトの別名)を主祭神とする「熊野十二所権現」を祀る。八咫烏(ヤタガラス)が石に姿を変えたといわれる烏石や樹齢850年の大楠があります。無病息災、長寿、所願成就などにご利益があるとされており、熊野三山の中で最も熊野権現造りの風格を伝えています。

一般社団法人 和歌山県鍼灸師会 会報第23号

発行日 2015年10月6日  
発行者 一般社団法人 和歌山県鍼灸師会  
会長 萩野 利赴  
連絡先 〒643-0033  
和歌山県有田郡有田川町大字明王寺 338-8  
フジビル1号  
電話 0737-53-1101 FAX 0739-22-0676  
URL <http://wakayama.harikyu.or.jp/>



# 美顔鍼

— 美顔率と解剖機能からのアプローチ —

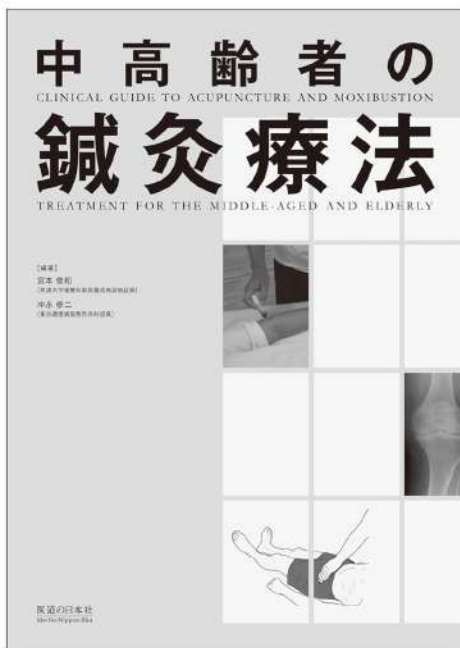
著：土門 奏 定価：本体3,600円+税 B5判 104頁

## シワ・たるみの原因を患者の「顔グセ」から 解き明かし、10歳若返るための治療法を解説

顔のシワ・たるみなどを訴える患者への美顔鍼治療を、社会心理学で研究が進められている顔の「黄金比率」と、解剖機能からのアプローチで解説。顔面への鍼治療、筋膜の形を整える「SMAS」マッサージ、表情筋の拘縮軽減と可動域改善を目的としたマッサージやPNF、患者へのセルフケアのレクチャー法を紹介しています。また、愁訴の状態・原因を判断するための顔面の筋肉の拘縮度の評価方法、筋力と筋肉の代償運動を評価する徒手検査も写真付きで説明。論理的な解説でシワ・たるみの原因や、顔面の筋肉・皮膚の構造を理解できると同時に、臨床に取り入れられるテクニックが詰まった一冊。



# 中高齢者の鍼灸療法



編著：宮本俊和(筑波大学人間総合科学研究科スポーツ医学専攻教授)、冲永修二(東京通信病院整形外科部長)

執筆：荒木信夫(埼玉医科大学神経内科教授)、飯島節(国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局長)、伊藤彰紀(埼玉医科大学神経耳科教授)、粕谷大智(東京大学医学部附属病院リハビリテーション部鍼灸部門主任)、久野譜也(筑波大学人間総合科学研究科教授)、菅原正秋(東京有明医療大学保健医療学部鍼灸学科)、松平浩(東京大学医学部附属病院22世紀医療センター運動器疼痛メディカルリサーチ&マネジメント准教授)、目崎登(筑波大学名誉教授)、山口智(埼玉医科大学東洋医学科)、和田恒彦(筑波大学理療科教員養成施設准教授)、他。

B5判 208頁 定価：本体3,600円+税

## 早期治療の実施や病態把握、患者指導に役立つ1冊 中高齢患者に対する施術の注意点などがよくわかる!

人口の大半を占める40歳以上の中高齢者に対して、鍼灸は何ができるのか。本書は中高齢者に多く、鍼灸でQOL向上に寄与できるとされる疾患(変形性膝関節症、三叉神経痛、リウマチ、等)を中心に、発生機序や病態、西洋医学で行われる検査・治療、具体的な鍼灸治療の方法を解説。総論では中高齢者の身体的な特徴と、それに対して施術で注意すべき点を紹介。各論では疾患ごとに重要なポイントなどをまとめている。患者が来院した際に、鑑別、治療、日常生活のアドバイスまでを含めて、対処できる構成となっている。

# 鍼灸師システム レセプト作成ソフト

トウィンヒルズソフトは鍼灸院を応援しています！！

月々の使用料 ￥5,000（税別）

※初回月のみ導入費￥10,000(税別)+使用料が必要です

ソフト(CD)のみの販売なので現在お使いのパソコンで始められます



施術録作成(F1)
施術データ作成(F2)
レセプト発行(F3)
提出書類作成(F4)
レセプト発行後のデータ更新(F5)
日計処理・領収書発行(F6)
各種書類作成(F7)
バックアップ(F8)
処理年月変更(F9)
操作(F10)
システム終了(Esc)

患者氏名 保険者名  
住所 診療科目  
生年月日 性別 年齢 職業 氏名  
〒 電気部 電気部 電気部 同僚日 同僚日  
0 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31  
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31  
治療の種類 金額 回数 計 実日数 計額  
k21(電気針・温灸器・光線併用) × = 吉 針  
k22(温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k23(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k24(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k25(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k26(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k27(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k28(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k29(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k30(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k31(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k32(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k33(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k34(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k35(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k36(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k37(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k38(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k39(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k40(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k41(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k42(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k43(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k44(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k45(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k46(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k47(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k48(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k49(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k50(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k51(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k52(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k53(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k54(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k55(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k56(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k57(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k58(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k59(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k60(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k61(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k62(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k63(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k64(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k65(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k66(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k67(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k68(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k69(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k70(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k71(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k72(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k73(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k74(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k75(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k76(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k77(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k78(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k79(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k80(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k81(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k82(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k83(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k84(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k85(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k86(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k87(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k88(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k89(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k90(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k91(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k92(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k93(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k94(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k95(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k96(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k97(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k98(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k99(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金  
k100(電気針・温灸器・光線併用) × = 一部負担金

## トウィンヒルズソフト

TEL/FAX 0736-32-2096

ADDRESS 和歌山県橋本市野565-6

<http://www10.plala.or.jp/aktwin/index.html>

先進医療器と最新情報で  
健康創りのお手伝いを致します。



Sunカーボン灯 DX型



Sunカーボン灯 A型

- 鍼・灸・治療器・東洋医学関連商品
- 医薬品 ● Sunカーボン灯(発売元)
- 新規開院のプランニング



有限会社 **藪本医科器械**

〒640-8113 和歌山市広瀬通丁1丁目11番地

TEL 073-425-0017(代)

FAX 073-425-0018

<http://www.yabumotoika.com>





# 明治国際医療大学



鍼灸学部  
**鍼灸学科**  
50名

保健医療学部  
**柔道整復学科**  
40名

看護学部  
**看護学科**  
60名

大学院

**鍼灸学研究科**

修士課程

修士後期課程

修士課程 (通信教育課程)

### [ 特色 ]

- キャンパス内の附属病院で活きた医療を学ぶ
- 徹底した少人数教育と充実のサポート体制
- 健康・スポーツ関連資格の取得を支援
- トップアスリートと医療人の両立を目指す新しい学びを実現

充実の特待生制度 (授業料半額減免、最長4年間)

〒629-0392 京都府南丹市日吉町

TEL **0771-72-1188**

明治国際

検索

<http://www.meiji-u.ac.jp/>

ACCESS

JR 桂川駅・阪急桂駅から直通バス 約 60 分  
JR 京都駅より山陰線鍼灸大学前駅 約 60 分



# 明治東洋医学院専門学校

豊かな感性と確かな技術を持った  
信頼される臨床家の育成を目指します。

### [ 特色 ]

- 1925年創立の伝統と実績
- 充実の実習カリキュラム
- 就職・開業への万全のサポート体制

**鍼灸学科**  
[3年制]

<昼間部>  
午前コース (各)60名  
午後コース

<夜間部>  
夜間コース 60名

**柔整学科**  
[3年制]

<昼間部>  
午前コース 90名  
午後コース

<夜間部>  
夜間コース 60名

**教員養成学科**  
[2年制]

午前コース 25名

附属治療所、フットサル施設を併設

〒564-0034 大阪府吹田市西御旅町7-53

TEL **06-6381-3811**

明治東洋

検索

<http://www.meiji-s.ac.jp/>

ACCESS

阪急梅田駅から 11 分 !!  
阪急下新庄駅から徒歩 5 分



2015年、学校法人明治東洋医学院は創立90周年を迎えました。

◆東洋医療学科(昼間/定員各30名)【はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師】

◆東洋医療鍼灸学科(昼間・夜間/定員各30名)【はり師・きゅう師】



その笑顔を、  
待っている人がいる。



学校説明会を  
開催します。

10/18(日)

個別学校見学  
随時受付中。

(予約制)

### 入学試験

[東洋医療学科] [東洋医療鍼灸学科]

11/8(日)

10/24(土)

11/8(日)

12/5(土)



学校法人 関西医療学園

関西医療学園専門学校

〒558-0011 大阪市住吉区蒔田6-18-13

TEL 06-6699-2222

関西医療学園

検索

併設学科

柔道整復学科  
理学療法学科



併設校

関西医療大学

〒590-0482 大阪府泉南郡熊取町若葉2-11-1 TEL 072-453-8251

保健医療学部

ヘルスプロモーション整復学科

はり灸・スポーツトレーナー学科

理学療法学科

臨床検査学科

保健看護学部

保健看護学科

大学院 保健医療学研究科 保健医療学専攻 (修士課程)